

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル 2010

実施報告書



Cofesta

2010

目次

【はじめに】	【パートナーイベント】
JAPAN国際コンテンツフェスティバル2010 実施報告書発行にあたり 2	第32回ぴあフィルムフェスティバル 35 第1回国際科学映像祭 35 クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 (CrIS関西) 36
JAPAN国際コンテンツフェスティバルとは?/ コンセプト 3	第5回札幌国際短編映画祭 (SAPPOROショートフェスティバル) 40 吉祥寺アニメーション映画祭 40 JVA FESTA 2010 41 第2回むつデジタル映像フェスティバル 41 全映協フォーラム 2010 42 CP+(シーピープラス) 2011 42
【運営体制】	【オリジナルイベント】
JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 委員一覧 4	CoFesta2010 グランドセレモニー 45 劇的3時間SHOW—5人の国際映画監督が語る— 46
運営組織図/ JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会/ イベント広報連絡会 5	【関連イベント】
【開催概要】	Co・フェスタPAO 47
イベントマップ 6	【海外展開】
CoFesta2010 参加イベント一覧 8	JAPAN EXPO 48 Co・フェスタ in 上海 50 HYPER JAPAN London 51 カンヌ映画祭/Ace Fair 52 (参考) Co・フェスタ in ブラジル 53
【CoFestaの「顔】】	【広報】
Co・フェスタイメージキャラクター/ トータルディレクション/ 公式テーマ曲 9	年間スケジュール 54 制作物 55 メディア露出状況 56
【百人委員会】	【一体感の創出】
百人委員会とは/百人委員会結団式 10	分野横断的企画 57 公式行事等へのCoFesta正副委員長の出席 58
委員一覧 11	
委員会社ロゴマーク一覧 12	
【オフィシャルイベント】	
東京ゲームショウ 2010 15	
日本ゲーム大賞 2010 16	
KYOTO Cross Media Experience 2010 (KYOTO CMEX 2010) 17	
CEATEC JAPAN 2010 19	
Creative Market Tokyo 2010 -Brand, Entertainment Contents / Trade & Licence- 20	
デジタルコンテンツ EXPO 2010 21	
第11回「東京発 日本ファッショントーク」 22	
第37回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール 23	
東京国際アニメ祭 2010秋 24	
第23回 東京国際映画祭 25	
第7回 文化庁映画週間 - Here & There 26	
TIFFCOM 2010 Marketplace for Film & TV in Asia 27	
国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2010 28	
第7回 東京国際ミュージックマーケット 29	
第27回 ATP賞 テレビグランプリ 2010 30	
電子書籍・コミック サミット in 秋葉原 31	
第4回 ロボット大賞 32	

・氏名は敬称略を基本とします。
・株式会社、社団法人、財団法人、独立行政法人は、
それぞれ(株)、(社)、(財)、(独)と略すことを基本とします。

はじめに



JAPAN国際コンテンツフェスティバル2010 実施報告書発行にあたり

JAPAN国際コンテンツフェスティバル2010
実行委員長 大谷 信義

「JAPAN国際コンテンツフェスティバル(コ・フェスタ)2010」の開催に際しましては、
多大なご支援、ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

コ・フェスタは、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、
映画といったコンテンツ産業に関わるイベントが連携し、世界に向けてジャパンコン
テンツを発信していくフェスティバルとして、2007年の秋に初めて開催され、昨年
からは、ファッション、デザインといったコンテンツと親和性の高い産業に関するイ
ベントも加わりました。今年度は17のオフィシャルイベント、9のパートナーイベント、
実行委員会が主催するオリジナルイベントからなる多種多様なコンテンツフェスティ
バルとして、昨年度に引き続き100万人を超える方々にご来場いただきました。

4年目のコ・フェスタは、オフィシャルイベントの連携により、イベントの共催や
マーケット機能の強化など、以前にも増して交流が活発になりました。パートナーア
イベントでは日本の各地のコンテンツ情報が発信され、コンテンツ産業の振興や地域
活性化といった成果を上げることができました。建設的なご提案、率直なご意見、
温かい激励のお言葉をお寄せくださいました関係各位に心より感謝申し上げます。

コ・フェスタ2010の実施報告書がここにまとめましたので、ご一読いただければ
幸いです。今年の成果を踏まえ、この4年間のコ・フェスタで培ったコンテンツ業
界としての一体感を一段と高めるべく、次の諸準備を進めて参りたいと考えており
ます。

コ・フェスタ2010にご参加いただいたオフィシャルイベントとパートナーアイベント
の主催者・後援者、及び関係者の皆様方の多大なるご協力に重ねて御礼申し上げ
ます。

大谷 信義

はじめに

JAPAN国際コンテンツフェスティバルとは？

JAPAN国際コンテンツフェスティバル（コ・フェスタ）とは、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファッショング、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントが連携して開催する世界最大規模の統合的コンテンツフェスティバル。

名 称：JAPAN国際コンテンツフェスティバル（コ・フェスタ）2010

主 催：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

開催場所：日本各地

2010年総来場者数：約130万人

【コ・フェスタ開催の目的】

- 日本の各分野におけるコンテンツを相互に連携させて世界に向けて発信し、世界中のコンテンツ関係者が一度に日本の数多くのコンテンツに触れる機会を提供する。
- 世界のコンテンツやコンテンツ関係者の新たな交流の場とし、国際共同製作や国際ビジネスの交流に結び付ける。

JAPAN国際コンテンツフェスティバル（コ・フェスタ）は4年目を迎えた。

- ①さらなる国際化
- ②B to B to C 時代の市場構築.
- ③新時代のコンテンツ感覚の導入
- ④新時代感覚のクリエイター育成

を2010年度の方針とした。

その結果、17のオフィシャルイベント、9のパートナーイベントで、昨年の観客動員数を増大させ、コ・フェスタの知名度は高まった。

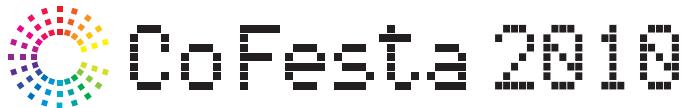
特に2010年度の新潮流として、国際化にむけ、フランス、シンガポール、ブラジル等のイベント、上海万博に参加した。

ゲーム、マンガ、キャラクター、アニメ、ファッショング、デザインなどは、日本の新イメージとしての国際的価値を生みだし、創造と流通の未来の可能性を感じさせた。

こうしたコンテンツの振興には、日本から新しいすぐれた人材が重要である。コンテンツは人々の生活から失われることのない、文化的必需品である。常に新未来について考え、情報を交換し、グローバルな中での日本の独創的価値を強く標榜するべきであると認識する。本年度はその実行を強く図る序章の年度とした。

エグゼクティブ・プロデューサー 重延 浩





運営体制

JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 委員一覧

2011年2月21日現在（敬称略）

【委員長】

大谷 信義	一般社団法人 日本映画製作者連盟 会長 (松竹株式会社 代表取締役会長)
-------	---

【副委員長】

依田 異	第23回東京国際映画祭 チェアマン 社団法人 日本経済団体連合会 産業問題委員会 エンターテインメント・コンテンツ産業部会 部会長
迫本 淳一	松竹株式会社 代表取締役社長
松谷 孝征	特定非営利活動法人 映像産業振興機構 理事長 一般社団法人 日本動画協会 名誉理事 (株式会社 手塚プロダクション 代表取締役社長)

【副委員長兼エグゼクティブ・プロデューサー】

重延 浩	株式会社 テレビマンユニオン 代表取締役会長・CEO
------	----------------------------

【委員】

石坂 敬一	一般社団法人 日本レコード協会 会長 (ユニバーサルミュージック合同会社 相談役)
井上伸一郎	株式会社 角川書店 代表取締役社長
岡田 裕介	東映株式会社 代表取締役社長
角川 歴彦	株式会社 角川グループホールディングス 取締役会長
神保 憲二	独立行政法人 国際観光振興機構 理事 事業本部担当
鷺見 良彦	財団法人 デジタルコンテンツ協会 専務理事
中富 道隆	独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）副理事長
野間 省伸	株式会社 講談社 代表取締役副社長
広瀬 道貞	社団法人 日本民間放送連盟 会長 (株式会社 テレビ朝日 顧問)
松岡 功	一般社団法人 映画産業団体連合会 会長 (東宝株式会社 名誉会長)
松本 正之	日本放送協会 会長
三宅 正彦	株式会社サンエーインターナショナル 取締役会長
矢内 廣	ひあ株式会社 代表取締役社長
和崎 信哉	社団法人 衛星放送協会 会長 (株式会社 WOWOW 代表取締役社長)
和田 洋一	一般社団法人 コンピュータエンターテインメント協会 会長 (株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス 代表取締役社長)

（以上、50音順）

上田 英志	内閣官房 知的財産戦略推進事務局 次長
武井 俊幸	総務省 大臣官房審議官（情報流通行政局担当）
村田 直樹	外務省 広報文化交流部長
小松 弥生	文化庁 文化部長
渡辺 信一	経済産業省 大臣官房審議官（IT戦略担当）
山田 尚義	観光庁 審議官
横山 英樹	東京都産業労働局観光部長

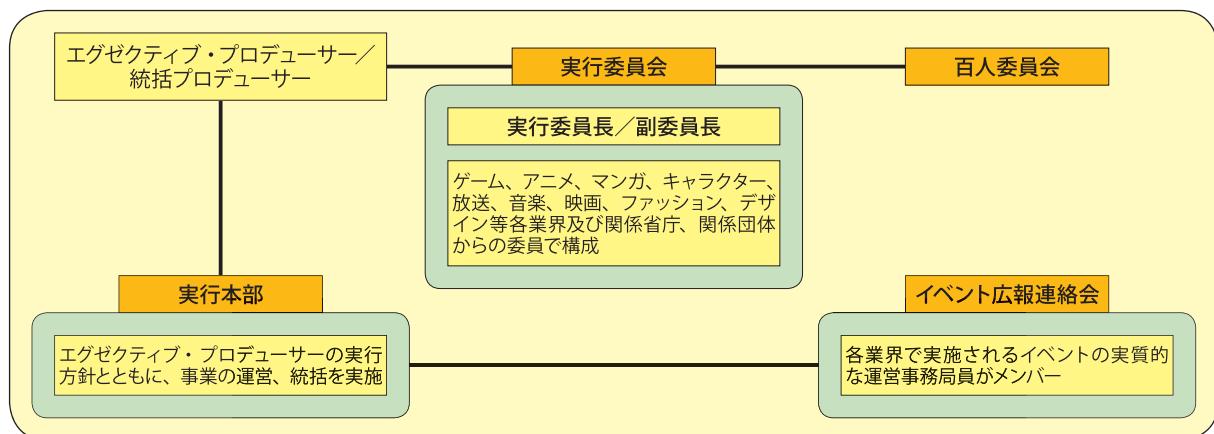
【監事】

工藤 英博	社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟 顧問 (映画専門大学院大学 学長)
森澤 克彦	社団法人 日本映画テレビ技術協会 専務理事

運営体制

運営組織図／JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会／イベント広報連絡会

■運営組織図



■ JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

コ・フェスタの最高意思決定機関として、エグゼクティブ・プロデューサー等から上申された事項を審議、決議すると共に、コ・フェスタ独自のイベントの実施及び広報活動並び各業界イベントとの協力体制の強化を行う。

●第1回実行委員会

日時：5月26日(水) 10:00より
場所：東京会館 11F ゴールドルーム

【審議事項】

- 第1号議案 委員長、副委員長、エグゼクティブ・プロデューサー (EP) の選任の件
- 第2号議案 イベントカテゴリー、オフィシャルイベント選定の件
- 第3号議案 海外展開について



実行委員会



実行委員会



イベント広報連絡会



イベント広報連絡会

●第2回実行委員会

日時：7月30日(金) 11:00より
場所：東京会館 11F ゴールドルーム

【審議事項】

- 第1号議案 イベントカテゴリー、オフィシャルイベント追加承認の件
- 第2号議案 CoFesta2010の基本コンセプト及びコ・フェスタ関連企画PAOとオリジナル企画主催承認の件

●第3回実行委員会

日時：2月21日(月) 13:00より
場所：東京会館 11F ゴールドルーム

■イベント広報連絡会

コ・フェスタ実行本部とオフィシャルイベント事務局代表者が集まり、実務レベルでのイベント同士の情報交換を行い、イベント運営及び広報に関する項目について連携を深めた。

- 第1回 7月16日(金)
- 第2回 8月24日(火)

CoFesta 2010

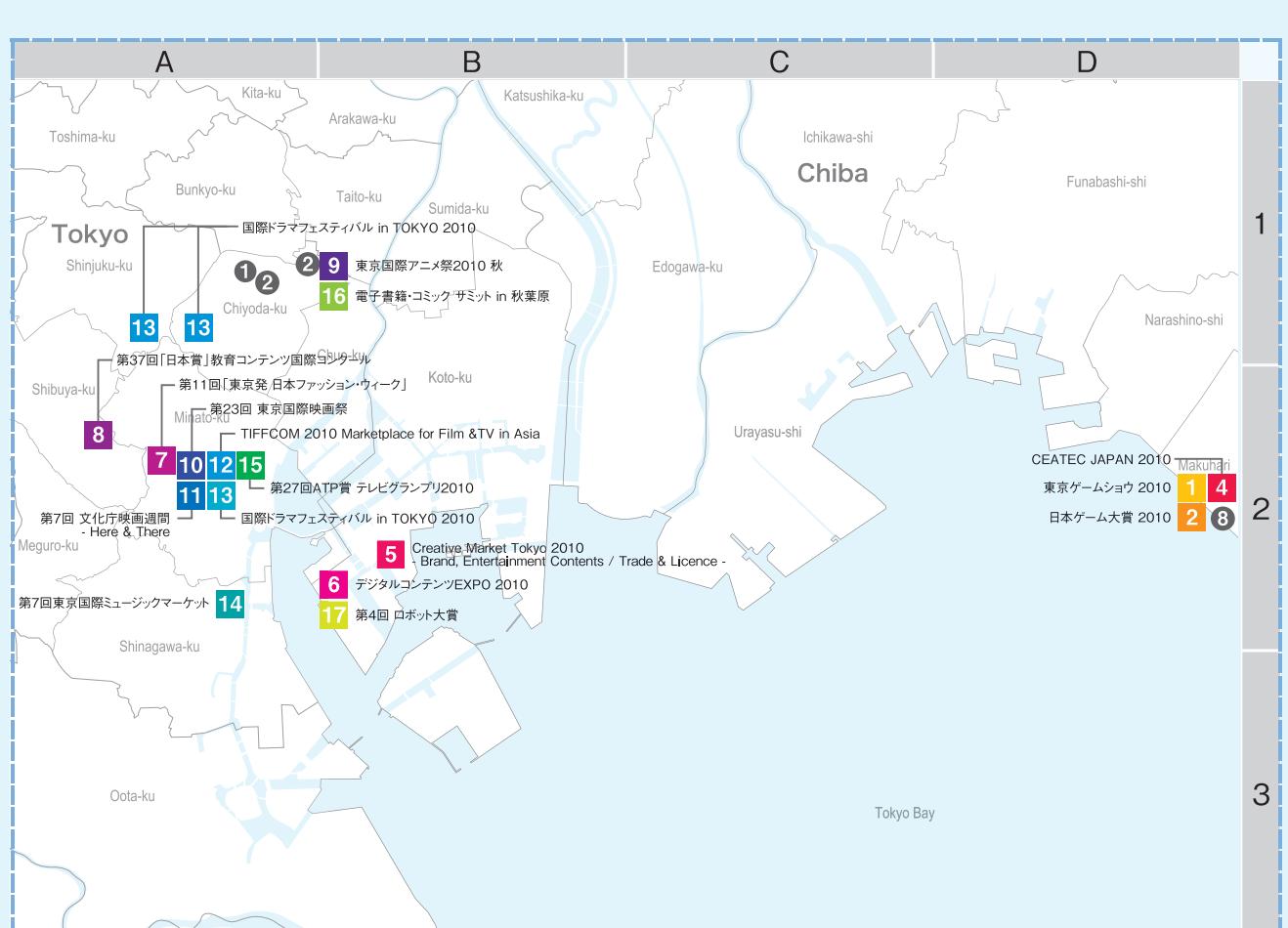
開催概要

イベントマップ



Official Events

1 東京ゲームショウ 2010	2010年 9月16日(木)	~19日(金)
2 日本ゲーム大賞 2010	2010年 9月16日(木)	~19日(金)
3 KYOTO Cross Media Experience 2010 (KYOTO CMEX 2010)	2010年 9月25日(土)	~12月12日(日)
4 CEATEC JAPAN 2010	2010年 10月5日(火)	~9日(土)
5 Creative Market Tokyo 2010 - Brand, Entertainment Contents / Trade & Licence -	2010年 10月13日(水)	~15日(金)
6 デジタルコンテンツEXPO 2010	2010年 10月14日(木)	~17日(日)
7 第11回「東京発 日本ファッショニ・ウィーク」	2010年 10月15日(金)	~24日(日)
8 第37回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール	2010年 10月20日(水)	~27日(水)
9 東京国際アニメ祭2010 秋	2010年 10月22日(金)	~23日(土)
10 第23回 東京国際映画祭	2010年 10月23日(土)	~31日(日)
11 第7回 文化庁映画週間 - Here & There	2010年 10月23日(土)	~30日(土)
12 TIFFCOM 2010 Marketplace for Film & TV in Asia	2010年 10月25日(月)	~28日(木)
13 国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2010	2010年 10月25日(月)	~28日(木)
14 第7回東京国際ミュージックマーケット	2010年 10月25日(月)	~28日(木)
15 第27回ATP賞 テレビグランプリ2010	2010年 10月29日(金)	
16 電子書籍・コミック サミット in 秋葉原	2010年 11月12日(金)	~14日(日)
17 第4回 ロボット大賞	2010年 11月26日(金)	~28日(日)

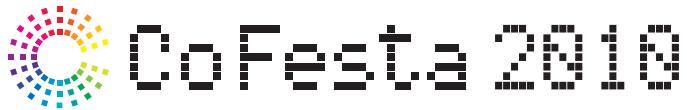


Partner Events

① 第32回びあフィルムフェスティバル	2010年 7月16日金	~30日金
② 第1回 国際科学映像祭	2010年 9月11日土	~10月11日月
③ クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西2010 (CrIS 関西)	2010年 8月25日水	~12月25日土
④ 第5回札幌国際短編映画祭	2010年 10月6日水	~11日月
⑤ 吉祥寺アニメーション映画祭	2010年 10月9日土	
⑥ JVA FESTA 2010	2010年 11月3日水	~7日日
⑦ 第2回むつデジタル映像フェスティバル	2010年 11月12日金	~14日日
⑧ 全映協フォーラム2010	2010年 11月18日木	
⑨ CP+2011	2011年 2月9日水	~12日土

Original Events

CoFesta2010 グランドセレモニー	2010年 9月28日火
劇的3時間SHOW —5人の国際映画監督が語る—	2010年 12月13日月 ~2011年 3月30日水



開催概要

CoFesta2010 参加イベント一覧

オフィシャルイベント(17イベント)	開催期間	開催場所
東京ゲームショウ 2010	9/16 (木)~9/19 (日)	幕張メッセ
日本ゲーム大賞 2010	9/16 (木)~9/19 (日)	幕張メッセ
KYOTO CMEX 2010	9/25 (土)~12/12 (日)	烏丸御池エリア、京都太秦エリア
CEATEC JAPAN 2010	10/5 (火)~10/9 (土)	幕張メッセ
Creative Market Tokyo 2010 - Brand, Entertainment Contents/ Trade & Licence -	10/13 (水)~10/15 (金)	東京ビックサイト 西4ホール
デジタルコンテンツ EXPO 2010	10/14 (木)~10/17 (日)	日本科学未来館/東京国際交流館
第11回「東京発 日本ファッション・ウィーク」(JFW)	10/15 (金)~10/24 (日)	東京ミッドタウン
第37回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール	10/20 (水)~10/27 (水)	NHK放送センター
東京国際アニメ祭 2010 秋	10/22 (金)~10/23 (土)	秋葉原UDX
第23回東京国際映画祭	10/23 (土)~10/31 (日)	六本木ヒルズほか
第7回文化庁映画週間 -Here & There	10/23 (土)~10/30 (土)	六本木ヒルズほか
TIFFCOM 2010 Marketplace for Film & TV in Asia	10/25 (月)~10/28 (木)	六本木ヒルズ森タワー 六本木アカデミーヒルズ 40F、49F
国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2010	10/25 (月)~10/28 (木)	明治記念館、千代田放送会館、六本木ヒルズ
第7回東京国際ミュージックマーケット(TIMM)	10/25 (月)~10/28 (木)	品川プリンスホテル、ステラボール
第27回ATP賞テレビグランプリ 2010	10/29 (金)	六本木ハリウッドホール
電子書籍・コミック サミット in 秋葉原	11/12 (金)~11/14 (日)	秋葉原UDX
第4回ロボット大賞	11/26 (金)~11/28 (日)	日本科学未来館
パートナーイベント(9イベント)	開催期間	開催場所
第32回PFF ひあフィルムフェスティバル	7/16 (金)~7/30 (金)	東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール、京都、福岡、神戸、名古屋で順次開催
クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 2010(CrIS関西)	8/25 (水)~12/25 (土)	関西各地域
第1回 国際科学映像祭	9/11 (土)~10/11 (月・祝)	科学技術館、府中市郷土の森博物館、 秋葉原UDXシアター 他
第5回札幌国際短編映画祭 (SAPPOROショートフェスト2010)	10/6 (水)~10/11 (月)	大通り公園2丁目ホワイトロックシアター、 札幌東宝プラザ、シアターキノ
吉祥寺アニメーション映画祭	10/9 (土)	武蔵野商工会館4F市民会議室(ゼロワンホール)
JVA FESTA 2010	11/3 (水・祝)~11/7 (日)	三鷹市芸術文化センター
第2回むつデジタル映像フェスティバル	11/12 (金)~11/14 (日)	青森県むつ市 むつ来さまい館
全映協フォーラム 2010	11/18 (木)	幕張メッセ 国際会議場
CP+2011(シーピープラス)	2/9 (水)~2/12 (土)	パシフィコ横浜 (展示ホール・アネックスホール・会議センター)
オリジナルイベント(2イベント)	開催期間	開催場所
CoFesta2010 グランドセレモニー	9/28 (火)	帝国ホテル
劇的3時間SHOW —5人の国際映画監督が語る—	12/13 (月)~3/30 (水)	スパイラルホール、六本木ミッドタウン

CoFesta の「顔」

イメージキャラクター／トータルディレクション／公式テーマ曲

■コ・フェスタ イメージキャラクター

コ・フェスタのイメージキャラクターは、昨年に引き続きファッショニドル、女優として世界を舞台に活躍している杏氏が務めた。「コ・フェスタ in 上海」やグランドセレモニー等のイベントに登場し、ジャパン・コンテンツの魅力を国内外に伝えた。

杏



■トータルディレクション

CoFestaシンボルマークの制作をはじめ、トータルでのアートディレクションを手がけたのが、佐藤可士和氏。

トップクリエーターとして活躍する彼が、コ・フェスタのアートディレクションのテーマとして選んだのが「Multi Contents Link」。

「Multi Contents Link」

あらゆるコンテンツが相互に連携、影響し合いながらリンクして、新たな可能性を創造していく様をContentsの頭文字Cをモチーフにシンボライズ。日本からグローバルに発信する新しいプロジェクトのイメージを斬新且つインパクトをもって表現した。



カラーリングの考え方方はマルチカラーグラデーションを基本とし、多彩な色相のグラデーションで展開することにより、様々な人、情報、メディアが集まり、交流しながら広がるコミュニケーションの輪の楽しさを象徴している。

佐藤 可士和



■公式テーマ曲

公式テーマ曲「Links」は2007年の第1回コ・フェスタ開催時に、JAPANコンテンツの祭典にふさわしいテーマ曲をという願いから、現代日本を代表する作曲家久石譲氏に作曲を依頼、同年のコ・フェスタオープニング・セレモニーにて初披露された。さまざまなコンテンツがコンテンツの頭文字である“C”マークを中心に、集散拡散しながら相互に連携リンクする様を見事に表現された作品となつた。

久石 譲



百人委員会

百人委員会とは／百人委員会結団式



■百人委員会とは

正式名称：JAPAN国際コンテンツフェスティバル百人委員会
(通称：百人委員会)

設立主旨：コ・フェスタを産業界から支援することを目的とする

コ・フェスタ2010活動内容：百人委員会結団式の開催、結団式及びグランドセレモニーでの委員一覧・企業ロゴマーク一覧パネル掲載、グランドセレモニーへの参加、コ・フェスタ公式ガイドおよびウェブサイトへの委員一覧掲載協力



■百人委員会結団式

日時：7月30日(金) 12:30～13:30

場所：東京會館 丸の内本館 11階 シルバーレーム

司会：森尾ナオアキ

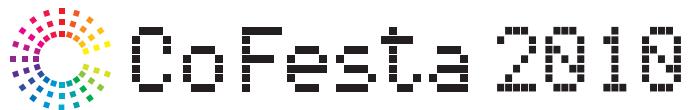
出席者数：約150名

(百人委員本人・代理・随行・実務担当者約75名、
コ・フェスタ実行委員会関係者約35名、
オフィシャルイベント関係者約40名)

次第：

1. 開会挨拶 (大谷信義 コ・フェスタ2010実行委員会 委員長)
2. 副委員長・エグゼクティブ・プロデューサーご紹介
3. コ・フェスタ2010コンセプトの説明 (重延浩 コ・フェスタ2010実行委員会副委員長兼エグゼクティブ・プロデューサー)
4. ご挨拶 (高橋千秋 経済産業省大臣政務官)
5. 百人委員会委員長 ご挨拶&乾杯
(原 良也 百人委員会委員長 (株)大和証券グループ本社最高顧問／
(社)日本経済団体連合会評議員会副議長、産業問題委員会委員長)
(ご歓談)
6. 閉会 (依田 異 コ・フェスタ2010実行委員会 副委員長)





CoFesta2010 Official Events

コ・フェスタ オフィシャルイベントとは、コンテンツ産業（ゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画）、およびファッショントレーディング、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業の各業界・組織が主催するイベント。

東京ゲームショウ 2010

日本ゲーム大賞 2010

KYOTO CMEX 2010

CEATEC JAPAN 2010

Creative Market Tokyo 2010
- Brand, Entertainment Contents/ Trade & Licence -

デジタルコンテンツ EXPO 2010

第11回「東京発 日本ファッショントリニティ」(JFW)

第37回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール

東京国際アニメ祭 2010 秋

第23回東京国際映画祭

第7回文化庁映画週間 -Here & There

TIFFCOM 2010 Marketplace for Film & TV in Asia

国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2010

第7回東京国際ミュージックマーケット(TIMM)

第27回ATP賞テレビグランプリ 2010

電子書籍・コミック サミット in 秋葉原

第4回ロボット大賞

オフィシャルイベント TOKYO GAME SHOW 2010

名 称：東京ゲームショウ 2010
 会 期：2010年9月16日(木)～9月19日(日)
 会 場：幕張メッセ
 主 催：一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会(CESA)
 共 催：日経BP社
 後 援：経済産業省
 対 象：コンピュータエンターテインメント業界関係者及び一般
 来場者：207,647人

■内容

●今年の特徴

「東京ゲームショウ 2010」では、今年より「アジアNO.1の情報網羅性」と「世界最大規模のイベント」という中期ビジョンを掲げ、新生「東京ゲームショウ」として、従来から進めてきたBtoB分野の強化策を実施する一方、アジアを中心とした海外からの一般ユーザーの来場促進を目的にBtoC分野の新しいイベント企画や主催者企画を多数導入した結果、東京ゲームショウ史上初の20万人を超える動員数を記録した。

●規模

出展社数：194社(国内103社、海外91社)

展示小間数：1,458小間(海外186小間)

プレス来場者数：4046人(海外1,306人)

出展タイトル数：712タイトル(事前登録)

●出展コーナー

一般展示、ゲームスクール、PCオンラインゲームコーナー(新設)、ゲームPCコーナー(新設)、オーディオビジュアル&ガジェットコーナー(新設)、モバイルコーナー(新設)、ファミリーコーナー、物販コーナー、国際ビジネス相談コーナー(新設)、ビジネスソリューションコーナー、インターナショナルキャリアパビリオン(新設)

●アジア・ゲーム・ビジネス・サミット

東京ゲームショウ開催20回記念企画として、アジア圏の主要なゲーム企業トップが一堂に会し、ゲームビジネス拡大のために乗り越えなければならない課題や展望についてパネルディスカッション形式で議論する国際会議を開催した。

・参加企業、登壇者

【中国】盛大遊戲(シャンダ・ゲームズ)	副総裁 錢 東海
騰訊(テンセント)互動娛樂業務系統	副総裁 王 波
【台湾】ガマニアデジタルエンターテインメント XPEC Entertainment Inc.	代表取締役CEO 劉 柏園
【韓国】NHN Corporation NEXON Corporation	代表取締役会長 許 金龍
【日本】カプコン スクウェア・エニックス・ホールディングス	ハンゲーム代表 ジョン・ウク 代表取締役社長 ソ・ミン 代表取締役社長 辻本 春弘 代表取締役社長 和田 洋一

・テーマ

「アジア圏各国・地域でのゲーム市場景況」「アジア圏におけるビジネス・パートナーの条件」「ゲーム・ビジネスの将来像」

●主催者企画

- ①国際ビジネス相談コーナー
- ②ビジネスマッチングシステム
- ③オーディオビジュアル&ガジェットコーナー特設ブース
- ④Gaming PC WORLD ~新体験! PCゲームの素晴らしい世界~
- ⑤iPhone & iPadコーナー/Androidコーナー
- ⑥ゲーム歴史博物館
- ⑦3Dテレビ体験コーナー

●特別パートナー企画

①闘劇 in TGS2010

【日程】9月18日(土)、19日(日) 【場所】展示ホール7

エンターブレインが企画、主催する格闘ゲーム大会「闘劇」をTGS会場内に誘致開催。国内に加え海外からの大会エントリーも受け付け、総選手数704人(内アジア勢64人、海外選手全体では98人)が参加。アーケード機での試合に加え、家庭用ゲーム機での試合も実施。指定席および自由席での観覧者数は、述べ27,600人となり、会場となった7ホールは、連日観客や選手で埋め尽くされるほどの賑わいを見せた。

②CosPlay@TGS2010

世界各国でコスプレが一つの文化となっていることから、コスプレ発祥の地日本に海外からの著名なコスプレイヤーを招致。カンファレンス、ダンスナイト、コンテスト、コスプレゾーンでの演出など各種企画展開した。



CoFesta 2010

オフィシャルイベント



Japan Game Awards : 2010



名 称：日本ゲーム大賞 2010
会 期：2010年9月16日(木)～9月19日(日)
会 場：「東京ゲームショウ2010」イベントステージ
主 催：一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会(CESA)
後 援：経済産業省
対 象：コンピュータエンターテインメント業界関係者及び一般

■内容

●「経済産業大臣賞」(発表授賞式：9月16日(木) 16:00～16:20)

日本の家庭用ゲーム産業の発展に寄与された人物並びに制作チーム等の団体に贈られる賞。本年は、ゲームクリエイターの堀井雄二氏が受賞。

●「年間作品部門」(発表授賞式：9月16日(木) 16:00～17:45)

対象作品：2009年4月1日から2010年3月31日までの間日本国内でリリースされた作品。年間を代表するにふさわしい最も優れた作品に贈られる「大賞」には、「Newスーパーマリオブラザーズ Wii」(任天堂)が選出された。

●「アマチュア部門」(発表授賞式：9月18日(土) 10:30～11:30)

対象作品：アマチュアの方が制作したオリジナルの未製品化作品。

応募総数201作品の中から、業界誌編集者、クリエイターによる審査を経て、9作品が受賞作品として選出。「大賞」には、昨年に引き続き東京工芸大学(制作チーム名「UWAY」)の「SAND CRUSH」が選ばれた。
「アマチュア部門」において2年連続大賞受賞は初の快挙。

●「フューチャー部門」(発表授賞式：9月19日(日) 12:00～13:30)

対象作品：「東京ゲームショウ2010」に出演された未発売作品

「東京ゲームショウ2010」会期中に来場者投票を実施。その後、日本ゲーム大賞選考委員による審査を経て、今後が期待される作品として、10作品が選出された。

●「ゲームデザイナーズ大賞」(今年より新設)(発表授賞式：9月16日(木) 16:00～17:45)

対象作品：2009年4月1日から2010年3月31日までの間日本国内でリリースされた作品。記念すべき第1回目の受賞作品は、「HEAVY RAIN 一心の転むとき一」(開発元:Quantic Dream／発売・販売元(株)ソニーコンピュータエンタテインメント)が選出された。

【概要】

クリエイターが作り手の視点から高い独創性を持ち且つ、ゲームの歴史にその名を刻むべき革新的な作品を選出、称える賞として本年より新設し、桜井政博氏(有)ソラ代表)を委員長に同賞の趣旨にご賛同頂いた日本を代表する10名のクリエイターで構成される11名の審査員によって受賞作品を決定する。

【ゲームデザイナーズ大賞審査員】

飯田 和敏 (グラスホッパー・マニュファクチャ)

イシイジロウ (レベルファイブ)

上田 文人 (ソニー・コンピュータエンタテインメント)

神谷 英樹 (プラチナゲームズ)

菊池 正義 (セガ)

河野 一二三 (ヌードメーカー)

桜井 政博 (ソラ)

巧 舟 (カプコン)

外山 圭一郎 (ソニー・コンピュータエンタテインメント)

藤澤 仁 (スクウェア・エニックス)

三上 真司 (Tango)



オフィシャルイベント

KYOTO CMEX 2010

名 称：KYOTO Cross Media Experience 2010 (KYOTO CMEX 2010)
 会 期：2010年9月25日(土)～12月12日(日)
 会 場：京都国際マンガミュージアム／東映京都撮影所／松竹京都撮影所／
 東映太秦映画村／立命館大学朱雀キャンパス／京都商工会議所 他
 主 催：KYOTO Cross Media Experience 実行委員会
 委員長：齋藤 茂(京都商工会議所 常議員、京都ブランド推進特別委員会
 委員長／株トーセ代表取締役社長)
 構 成：経済産業省近畿経済産業局／東映(株)京都撮影所／株松竹京都撮影所／
 (株)東映京都スタジオ／(株)ドーガ／財京都文化財団・京都文化博物館／
 京都国際マンガミュージアム／財大学コンソーシアム京都／
 関西学院大学／京都嵯峨芸術大学／京都精華大学／京都造形芸術大学／
 立命館大学／財京都産業21／財京都高度技術研究所／
 ITコンソーシアム京都／中島貞夫(映画監督)／京都府／京都市／
 京都商工会議所
 対 象：国内外のコンテンツ産業関係者、若手クリエイターやクリエイターを目指す大学生、コンテンツに関心のある方など
 来場者：88,633人



■内容

●京都太秦シネマフェスティバル

日時：9月25日(土)～12月12日(日)

会場：太秦地域一帯

概要：戦国をテーマにしたシンポジウムやコスプレイベント、映画制作を体験する子どもワークショップ、世界の短編映画を上映するインディーズ映画祭など、映画のまち“京都・太秦”的魅力を発信するイベントを開催した。



子どもワークショップ
「体验! キッズ・シネマスタジオ」



太秦戦国祭り



CG アニメコンテスト・CG アニカップ



コンテンツビジネスセミナー

●コンテンツビジネスセミナー

日時：9月30日(木)、11月1日(月)、11月11日(木)、12月3日(金)

会場：京都商工会議所

概要：京都の強みを生かしたコンテンツ産業の振興を図るため、映画・映像、ゲーム、マンガ・アニメ等のコンテンツ分野のトップランナーを招き、最新ビジネスの動向や成功の秘訣、今後の展望等を伺い、京都発の新たなビジネスモデルを探るとともに、コンテンツ制作者と企業との交流や連携を促進するセミナーを実施した。

●レセプション

日時：11月8日(月)

会場：京都国際マンガミュージアム

概要：国内外のコンテンツ産業に関わるキーパーソンや関係者による分野横断的な人材交流とネットワークを深めるとともに、KYOTO CMEX事業を国内外に発信することを目的に開催。アトラクションとして京都市交響楽団によるオープニング演奏、光の映像ショー「まちデコ」を実施した。

オフィシャルイベント

KYOTO C-MEX 2010



京都国際マンガミュージアム
マンガ・アニメイベント



クロスメディア時代の未来を担う
クリエイター育成実践講座



京都映画・映像企画市



HISTORICA (ヒストリカ)



クリエーターズサミット

●京都国際マンガミュージアム マンガ・アニメイベント

日時：9月16日(木)～12月3日(金)

会場：京都国際マンガミュージアム

概要：日本初開催となるフランス・ルーヴル美術館が企画・出版したオリジナルBD（フランス語圏のコミックス）の原画展をはじめ、ドイツの最新アニメの上映会、養老孟司マンガミュージアム館長と内田樹氏との特別対談等、マンガ・アニメの魅力を総合的に発信するイベントを実施した。

●京都ゲームフェスタ

日時：11月13日(土)、14日(日)

会場：イオンモール京都

概要：世界の人気キャラクター“ポケモン”をテーマに、ゲーム、カードゲーム、着ぐるみ、映画などポケモンコンテンツの魅力を体感できるイベントの実施を通じて、コンテンツの多元的利用の可能性を発信した。

●クロスメディア時代の未来を担うクリエイター育成実践講座

日時：11月27日(土)、12月4日(土)、5日(日)

会場：京都高度技術研究所

概要：幅広いニュービジネスを創出するという視点から、各コンテンツ分野が融合するクロスメディア展開を促進し、新規商品を生み出すクリエイターや新たな事業展開を図るプロデューサーを育成する実践講座を開催した。

●京都映画若手才能育成ラボ

日時：12月7日(火)～12月12日(日)

会場：太秦地域撮影所など

概要：本編映画と同じ施設・道具を使用して、本格的な時代劇を制作体験するワークショップにおいて、国内外の若手映画制作者がドイツから招聘したプロデューサーの指導のもと、短編時代劇映画を制作した。

●京都映画・映像企画市

日時：12月10日(金)

会場：東映京都撮影所

概要：京もの・時代ものの企画発掘・制作と人材育成を目的にした企画市において、若手映画・映像関係者が9企画を発表し、企画作りのノウハウなど、業界の第一線で活躍する評価者から商業化に向けたアドバイスを受けた。

●HISTORICA(ヒストリカ)

日時：12月11日(土)、12日(日)

会場：東映京都撮影所、松竹京都撮影所

概要：「レキシゲキを楽しめ！」をテーマに、歴史劇・時代劇の国際映画祭を開催した。映画・映像制作の拠点である撮影所において、5カ国6作品を上映するとともに、映画製作関係者のセミナーを開催するなど、クロスメディア展開の手法や国際事業展開の可能性を探った。

●クリエーターズサミット

日時：12月11日(土)、12日(日)

会場：東映京都撮影所、東映太秦映画村

概要：クリエーターの国際的な交流やクロスメディア時代に対応した人材育成を目的に、内外のトップクリエーターを招聘し、国際事業展開、コンテンツの多元的利用、コンテンツの潮流などをテーマにしたパネルディスカッションを開催した。

●クロスマーティング

日時：12月11日(土)

会場：東映太秦映画村

概要：コンテンツ産業に携わる国内外の関係者や、将来の担い手となる若手クリエーター等を対象に、分野の垣根を越えた横断的なネットワーク形成を目的とした交流会を開催した。

最先端IT・エレクトロニクス展®
**オフィシャルイベント CEATEC®
JAPAN**

名 称：CEATEC JAPAN 2010
 会 期：2010年10月5日(火)～10月9日(土)
 会 場：幕張メッセ
 主 催：CEATEC JAPAN 実施協議会
 一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)
 (社)電子情報技術産業協会(JEITA)
 (社)コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)
 後 援：総務省／経済産業省／外務省（建制順）
 千葉県／千葉市／日本放送協会／(社)日本民間放送連盟／
 (社)日本経済団体連合会／日本商工会議所／東京商工会議所／
 千葉商工会議所／日本貿易振興機構(ジェトロ)／
 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構／
 (独)国際観光振興機構(日本政府観光局)／アメリカ合衆国大使館商務部／
 欧州連合駐日欧州委員会代表部／英国大使館貿易・対英投資部／
 カナダ大使館／フランス大使館企業振興部—ユビフランス（順不同）
 協 賛：特定非営利活動法人ITS Japan／(財)インターネット協会／(社)衛星放送協会／
 (社)応用物理学会／グリーンIT 推進協議会／(社)情報通信技術委員会／
 全国家電流通協議会／全国電機商業組合連合会／
 全国電子部品流通連合会／(財)デジタルコンテンツ協会／
 (社)電気通信事業者協会／(社)電子情報通信学会／(社)電波産業会／
 (社)日本映像ソフト協会／(社)日本オーディオ協会／
 (社)日本ケーブルテレビ連盟／(社)日本コンピュータシステム販売店協会／
 (社)日本CATV技術協会／一般社団法人日本自動車工業会／
 (社)日本書籍出版協会／(社)日本電機工業会／日本電子機器輸入協会／
 一般社団法人日本レコード協会／(社)ビジネス機械・情報システム産業協会
 (五十音順)
 対 象：IT・エレクトロニクス業界関係者、ユーザ及び一般
 来場者：181,417人

■内容

11回目を迎えるCEATEC JAPANは、「Digital Harmony—もっと快適に、もっとエコに」を開催テーマに、次の10年へと挑戦を始めた。本年の開催規模は、616社／団体（うち海外：15カ国／地域から196社／団体）、2,255小間。会期中の登録来場者総数は、5日間合計で181,417名（うち登録プレス2,434名）となった。急速に進展するデジタル社会への対応や、地球環境と経済成長の両立の実現に向けた最先端のICT・エレクトロニクス技術を紹介するとともに、将来のデジタル社会と環境の調和を提案し、スマートグリッド・イノベーション2010と3Dシアターを開設し日本型スマートグリッドを世界に向けてアピールするなど、従来のCEATEC JAPANの領域を越えた展示会を目指した。

また、電子部品・デバイス業界からも、多くの展示をいただいた。今回は、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークサービス、コンテンツのみならず、自動車、エネルギー、健康など、現状のビジネス展開の情勢を反映したものとなった。

B to Bにフォーカスした特別ゾーン「CEATEC Suite」の新設や、国際会議や学会との連動、コンファレンス・セミナーを充実させることで、幅広い情報収集とビジネス機会を提供。未来の地球へつながる豊かな暮らしとスマートな社会を提案する『CEATEC JAPAN 2010』となった。

コンテンツ関連の主催者企画として「コンテンツエクスペリエンスゾーン」を開催。今後の市場を広げるためには、デジタル製品はネットワークにつながりプラットフォーム化することで、そこから提供されるコンテンツ・サービスを、いかにユーザが楽しむことができるかを提案することが重要。映画や3D映像、音楽等のエンタテインメントソフトを中心に、IPTV、ブルーレイディスク等、今後の利用が広がる新しいメディアのユーザ体験の機会を提供し、期待すべき未来の楽しみ方を身近に感じていただいた。

その他、コンテンツに関連する出展では、昨年は主に参考出展であった3D対応テレビが、今年は各社から続々と発売される中、裸眼で視聴可能な3Dや、自分で撮影できる3D対応カメラなど、各社が3D技術の次のステージを披露。また、AR技術を取り入れたヘッドマウントディスプレイやスマートフォン、電子タブレットなど、各社から発表され、来場者の注目を集め、新しいスタイルのコンテンツの楽しみ方が、多くのニュース・情報TV番組等で紹介された。



CoFesta 2010

オフィシャルイベント

人を探す、コンテンツと出会うクリエイティブ・マーケット
Creative Market Tokyo 2010
Brand, Entertainment Contents / Trade & Licence



名 称：Creative Market Tokyo 2010 - Brand, Entertainment Contents/Trade & Licence -
会 期：2010年10月13日(水)～10月15日(金)

会 場：東京ビッグサイト 西4ホール

主 催：Creative Market Tokyo 実行委員会

(経済産業省 関東経済産業局／独中小企業基盤整備機構／)
(株)日本経済広告社／ジャパン・ライセンシング・コミッティ)

後 援：韓国コンテンツ振興院／CG-ARTS協会／デジタルレコンテンツ協会／
(社)デジタルメディア協会／一般社団法人日本商品化権協会／

一般社団法人日本動画協会／不正商品対策協議会／香港貿易発展局

連携企画：TIFFCOM2010～Marketplace for Film & TV in Asia～
ACE Fair 2010(韓国光州市)

企画協力：日本経済新聞社 クロスマedia営業部

対 象：コンテンツ関連事業者(メディア、制作)、メーカー(商品企画、広告、販促)、
流通、サービス、広告、金融、自治体関係者など

来場者：7,384人

■ 内容

●概要

昨年までCoFestaのオフィシャルイベントとして開催されてきた2つのイベント「東京コンテンツマーケット」と「ライセンシング・アジア」が1つになり、新たなビジネスマッチング・トレードショー『Creative Market Tokyo』として官民合同で開催

●テーマ

「人を探す、コンテンツと出会う クリエイティブ・マーケット」

●マーケット

アニメ、実写映像、CG、ゲーム、キャラクター、ブランド等オールジャンルのコンテンツ＆ブランドが延べ210小間(176者)にわたり展開。

なお、マーケットはコンテンツ＆ブランドの特色に合わせ、2つのゾーンで構成

○フレッシュなオリジナリティ溢れるコンテンツが集う『東京コンテンツマーケット』ゾーン

○人気ブランドやキャラクターなどプロフェッショナルコンテンツ・プロパティが集う『ブランド・キャラクターライセンシング』ゾーン

●セミナー&シンポジウム

○特別基調講演「クリエイティブとビジネスの新しい関係」

アートディレクター／クリエイティブディレクター 佐藤可士和 氏

○「感動空間メイキング」

○「コンテンツの未来と国際展開」

○「アジアマーケット」

・『中国ライセンシング市場への架け橋となる香港』

・『中国・香港における知的財産権の課題について』

○キャラクターがもたらす、新たな消費マーケット

●表彰式

クリエイターの新たなビジネス展開を促し支援することや、ライセンス(2次使用)ビジネスの健全な発展と産業価値を広く社会に発信することを目的に、2つの表彰式を実施。

○『TCMアワード 2010』… 東京コンテンツマーケットゾーン全出展者を対象に、市場性や発展性において優れた作品を有識者やサポーター企業により選出

・大賞……………「CAT SHIT ONE」-THE ANIMATED SERIES- (株)IDA／(株)アニマ

・審査員特別賞…… 6者

・サポーターズ賞 ……12賞

○『ライセンシング・オブ・ザ・イヤー2010 in JAPAN』… ライセンスビジネス産業の価値を広く社会に発信するとともに、業界の健全な発展に寄与することも目的に1年間で最も活躍したプロパティ(キャラクター、ブランド等)を一般投票、選定委員による投票で選出

・グランプリ ……「ワンピース」(東映アニメーション株)

・キャラクター・ライセンス賞、ブランド・ライセンス賞、プロダクト・ライセンシー賞、プロモーション・ライセンス賞、リテイル賞、ニューフェイス賞、選考委員特別賞、BCLゾーン特別賞の各賞を表彰

オフィシャルイベント

DIGITAL
CONTENT
EXPO

名 称：デジタルコンテンツ EXPO 2010
 会 期：2010年10月14日(木)～10月17日(日)
 会 場：日本科学未来館／東京国際交流館
 主 催：経済産業省／財デジタルコンテンツ協会(DCAJ)
 共 催：日本科学未来館
 後 援：【日本】総務省／外務省／文化庁／観光庁／東京都／江東区／
 東京商工会議所／財CG-ARTS協会(画像情報教育振興協会)／
 財家電製品協会／(社)電子情報技術産業協会／
 (社)日本イベント産業振興協会／
 一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会／
 一般社団法人日本動画協会／日本バーチャルリアリティ学会／
 超臨場感コミュニケーション産官学フォーラム／3Dコンソーシアム／
 立体映像産業推進協会
 【海外】上海マルチメディア産業協会／日中CG文化交流協会／
 在日フランス大使館／香港貿易発展局／韓国コンテンツ振興院／
 3D Display Research Center／台湾デジタルコンテンツ産業推進室
 対 象：業界関係者及び一般
 来場者：26,187人

■内容

【講演、出展、上映等(全体)】

講演／シンポジウム／セミナー：39セッション、ステージイベント：16企画
 展示：105点、CGアートギャラリー：138作品
 上映&トーク：4K映像関連：6セッション、3D映像関連：9セッション

【実施プログラム】

●特別企画

フランス、韓国の代表に、シンポジウムにご登壇いただき、コンテンツ産業の現状と今後の国際協力の可能性に関し、情報を交換した。またCoFestaの公式イベント「Japan Fashion Week in TOKYO」との連携プログラム(トークセッション)を企画し、ファッション業界におけるデジタル技術を活用した試み等の最新情報を発信した。

●次世代コンテンツ技術展(ConTEX) 2010

今年度のテーマ「ガラパゴスを超えて」のもと、ガラパゴス的な進化を遂げた技術や製品をどのように世界に拡げていくかを論じたシンポジウムを開催した。また、サイバネティックヒューマンロボット「HRP-4C」にダンスと歌のコンテンツを融合させたプロジェクトの完成を披露し、その成果に大きな反響を得ることができた。

●ASIAGRAPH2010 in Tokyo

今年度のアジアグラフ・アワードでは、IAMASの坂根巖夫名誉学長に匠(たくみ)賞が、スタジオジブリの鈴木敏夫氏に創(つむぎ)賞が贈られ、記念講演を実施した。またCGの最先端技術を誇るPIXARからも専門性の高い講演者を招く等、各講演や展示の質の高い内容に対し好評を得ることができた。

●国際3D Fair 2010 in Tokyo

今年度のテーマ「3Dコンテンツ元年」を受けて、関連技術展示に加え、国際的専門家を招いての講演、3D映画、3Dゲームの接点を語り合ったセッション等に好評を得た。また、3D業界の発展に寄与した企業・団体の代表3者(ソニー(株)、スカパーJSAT(株)、モーニング娘。)に「International 3D Fair Award」が贈られた。

●国際パートナープログラム

- Futur en Seine：フランスの「キャップデジタル」による展示やプレゼンテーション
- CONTENT TECHNOLOGY OF KOREA：韓国からコンテンツ技術の様々な展示
- SIGGRAPH ASIA：今年度開催(韓国)のプログラム紹介

●参加プログラム

- 3DCG CAMP：「3DCG AWARDS 2010」の受賞作品発表会と関連のセミナー・展示
- Y2 AUTUMN 2010：ヤマハの音楽技術、最新の取り組み、プロジェクトの紹介
- Animation Master Class：海外専門講師によるCG制作に関する実践セミナー
- その他：ステージイベント「サイバーライブ」、上映2企画、セミナー2企画、等



CoFesta 2010

オフィシャルイベント



名 称：第11回「東京発 日本ファッショントーク」
会 期：2010年10月15日(金)～10月24日(日)
会 場：東京ミッドタウン 他
主 催：一般社団法人 日本ファッショントーク推進機構
後 援：経済産業省／(独)中小企業基盤整備機構／(独)日本貿易振興機構／
知的財産戦略本部／外務省／文部科学省／国土交通省／東京都／
(社)日本経済団体連合会／日本商工会議所／東京商工会議所／
(財)日本ファッショナリティ協会／(社)日本アパレル産業協会／
(財)ファッション産業人材育成機構／日本百貨店協会
対 象：バイヤー、プレス、その他業界関係者(一部一般消費者向け)
来場者：25,885人

■内容

「東京発 日本ファッショントーク」(以下、JFW)は、ファッション・ビジネスの国際競争力強化を図るため、日本の高品質・高感度な繊維素材やファッショントークのクリエーションを世界に向けて効果的に発信して、官民一体となって東京にファッションの発信拠点を整備する事業で、2005年に始まった。

第11回となる今回は、東京コレクション・トーキーを中心としてJFW主催イベントに25,000人超、スペシャル・関連イベントに約14,000人(把握可能な11イベント・展)の来場者がおり、盛況裡に終了した。公式会場のある東京ミッドタウン内をモデルが練り歩く新しい形式のコレクションショーが行われ、人気の東京リアルクローズブランドが参加したりするなど、「話題や華やぎがある」とメディアから注目を集めた。また、メンズを中心とする実力派ブランドの継続参加や、JFW初期から参加し着実に力をつけてきた若手ブランドのクリエーション力に一層「磨き」が加わってきており、総じて東京らしいコレクションとなってきた、と評価するプレス・バイヤーの声も多かった。

ビジネス強化の一環として、JETROによりインドとタイから有力セレクトショップバイヤーが招聘され、JFW関係デザイナー個展11ブランドを巡回し、商談が行われた。デザイナーからは、価格帯やサイズカラー展開など海外で売るための改善点も明確になるなど、ビジネス強化を目指す本プログラムへの評価が高く、今後の継続が望まれている。

動員力のある合同展「roomsLINK」をはじめ、クリエーター・デザイナー系の有力4合同展がJFW会期に照準を合わせて同時開催(10/19～21)され、集中的に盛んな商談が行われた。今後も、これら合同展とJFWとの更なる連携強化が望まれている。ニコニコ動画やUstreamで、12ブランドのショーと5プログラムをネット中継し、約21,000人の視聴、38,000ビューを得た。また、パナソニックの協力を得て一部コレクションショーの3D中継・収録上映も行った。これら今回初めて行った試みは、デザイナーからも強い関心がもたらされた。リニューアルしたwebサイトが「充実した」と総じて好評で、会期中は前回比2倍の60万ページビューのアクセスとなった。

●東京コレクション・トーキー 2011S/S Collection

会期：10月18日(月)～22日(金)
会場：東京ミッドタウン 他
参加数：40ブランド(30ランウェイショー7インスタレーション3映像配信)

●合同展示会

会期：10月19日(火)～21日(木)
会場：国立代々木競技場第一体育館 roomsLINK内JFW支援エリア
参加数：9ブランド

●2010新人デザイナーファッション大賞最終審査会

会期：10月15日(金)
会場：東京ミッドタウン・ホール Hall A
共催：東京都

●“NEXT STANDARD” JFW Lifestyle Exhibition

会期：10月20日(水)～22日(金)
会場：東京ミッドタウン・ホール Hall B
参加数：25社

その他、東京ミッドタウンを中心に都内各所にてイベントやパーティーを開催。

オフィシャルイベント 日本賞 JAPAN PRIZE 2010

名 称：第37回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール
 会 期：2010年10月20日(水)～10月27日(水)
 会 場：NHK放送センター
 主 催：日本放送協会
 対 象：世界教育コンテンツ関係者、研究者
 来場者：740人

■内容

「日本賞」は一昨年度に「教育番組」から「音と映像を用いた教育コンテンツ」に対象を広げ、今年はさらに革新的なメディア活用に挑む優秀なデジタルコンテンツを称える新しい賞も設立し、今回は世界64の国と地域から、史上最多の409の応募作品が寄せられた。会期中はノミネート作品の制作者やゲームクリエイターなどを招き、世界のメディア・コンテンツの最新情報や教育の最新事情が分かる関連イベント「クロスマedia・フォーラム」を開催し、多くの参加者で賑わった。最終日の授賞式では皇太子殿下のご臨席のもと、グランプリ日本賞が発表され、8日間にわたるコンクールが閉幕した。

日本賞ではこれからも教育的効果のある、優れたコンテンツの可能性を追求していく。

1. エントリー

409作品の応募(内容：コンテンツ部門360、企画部門49、64の国と地域の計226機関、うち初参加の機関・団体91)

2. 主な受賞作品

■コンテンツ部門 グランプリ日本賞

「素数の魔力に囚われた人々 ～リーマン予想・天才たちの150年の闘い～」
 日本放送協会(NHK)(日本)

■企画部門 最優秀賞：放送文化基金賞

「乳房の告発」
 アフリカ・ジャパン・ハウス・センター(AJH)(カメルーン)

3. 授賞式(10月27日 放送センター 101スタジオ)

皇太子殿下のご臨席のもと、各賞の受賞者、審査委員(11か国・地域14人)、参加者、各賞授与団体(総務大臣、文部科学副大臣、外務省文化交流課長、経済産業副大臣他)、大使館関係者など223人の出席者を迎えた。司会はクリス・ペプラー、鎌倉千秋アナウンサー。

4. 各関連イベント

10月20日(水) 開会式、審査

10月21日(木)～26日(火) 審査、関連イベント「クロスマedia・フォーラム」
 10月27日(水) 受賞作品上映会、授賞式、祝賀レセプション

5. 参加者一覧

会期中のイベント199人(日本人125人、外国人74人)
 授賞式223人、祝賀レセプション318人(32か国・地域)

6. 関連番組

「第37回日本賞授賞式 ～輝け！教育コンテンツ世界一～」

10月31日(日) 21:00～22:00 教育テレビ

11月 8日(月) 5:00～ 6:00 ※日本時間 NHKワールドプレミアム

「秋の夜長はまなびかふえ～日本賞 教育コンテンツ国際コンクール」

ハイビジョン特集「素数の魔力に囚われた人々 ～リーマン予想・天才たちの150年の闘い～」～第37回日本賞グランプリ受賞作品～

11月 5日(金) 23:00～26:04 教育テレビ

「見せます！世界の教育番組2010～「日本賞」受賞作品～」

12月 5日(日) 1:05～ 3:00 ※4日深夜 教育テレビ

「世界の教育コンテンツ最前線～進化する双方向スタイル～」

10月30日(土) 14:00～14:49 教育テレビ

11月 1日(月) 11:05～11:54 ※日本時間 NHKワールドプレミアム

11月 3日(水) 17:00～17:49 BS1



CoFesta 2010

オフィシャルイベント

Tokyo International Anime Festival



名 称：東京国際アニメ祭 2010 秋
会 期：2010年10月22日(金)～10月23日(土)
会 場：秋葉原 UDX
主 催：一般社団法人日本動画協会
共 催：経済産業省／NPO 法人映像産業振興機構
後 援：東京都／中華人民共和国 文化部／韓国コンテンツ振興院
協 賛：日本航空／パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)
特別協力：一般社団法人日本音声製作者連盟／(独)日本貿易振興機構(JETRO)
協 力：NTT都市開発(株)／ダイビル(株)／鹿島建設(株)／
（株）クロスフィールドマネジメント／（株）文化放送／東京アニメセンター／
東京国際アニメフェア実行委員会事務局
対 象：国内外のバイヤー並びにアニメビジネス関係者、及び一般来場者
来場者：8,144人

■内容

本イベントは、コ・フェスタのオフィシャルイベントとして開催された、アニメ文化の聖地といわれる秋葉原初の、アニメーション展示会である。

秋は、テレビ番組の改編や、年末年始の映画の宣伝時期と重なるため、アニメ業界でも作品中心の展示イベントがこの時期に待ち望まれてきた。また、現在アニメは、“クール・ジャパン”と国際的に高く評価され、当イベントを通じた海外ビジネスの活性化も目的の一つであった。

会場は、各社がブース出展する「展示ゾーン」と、ビジネス関係者や一般向けにプレゼンテーションや各種イベントを行う「ステージゾーン」、業界最先端のテーマを取り上げる「講演・シンポジウム」で構成。

展示ゾーンに於いては、国内の有名企業や、中華人民共和国文化部を含む海外組からのブース出展も獲得でき、2国内外の20社の企業が、31ブースを展示。秋から放送される新作アニメ、お正月の劇場作品、冬季発売のオリジナル・ビデオ・アニメ(OVA)や海外セールス展開作品、海外パートナー募集プロジェクト作品など最新情報を発信した。

一方シンポジウムに於いては、業界の最新動向、商品開発、技術関係、海外事情など、幅広い題材を取り上げた。基調講演には、ITジャーナリストの佐々木俊尚氏を迎、「動画のメディア空間はどう変わるか」と題した講演を、また、「3Dアニメ」や「アニメの地デジ対策」など業界注目の話題や、韓国・フランス企業による海外のアニメ事情も発信。意欲的な参加者を集めた。

今回の実施にあたり、アニメ作品・ビジネスの最新情報を、国内外にタイムリーに発信し、ビジネスにつなげていくことを目的とし、広報に注力とともに、海外からのビジネス来場者を積極的に誘致。世界最大のアニメの総合イベント「東京国際アニメフェア」の協力を受け、海外バイヤーへの積極的な情報発信を行った。

結果、来場者数は2日間で、8,144名、取材が、延べ110社167名、海外バイヤーが、延べ44社60名と初回にもかかわらず好結果を得ることができた。

オフィシャルイベント **TIFF** 23rd TOKYO INTERNATIONAL FILM FESTIVAL 2010.10.23sat - 10.31sun

名 称：第23回東京国際映画祭
 会 期：2010年10月23日(土)～10月31日(日)
 会 場：六本木ヒルズ(港区)ほか
 主 催：公益財団法人ユニジャパン(第23回東京国際映画祭実行委員会)
 共 催：経済産業省(マーケット部門)／東京都(コンペティション部門)／
 文化庁(映画人の視点)
 後 援：総務省／外務省／環境省／観光庁／財JKA／独立国際交流基金／港区／
 独日本貿易振興機構／社日本経済団体連合会／東京商工会議所／
 一般社団法人日本映画製作者連盟／一般社団法人映画産業団体連合会／
 社外国映画輸入配給協会／モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)／
 全国興行生活衛生同業組合連合会／東京都興行生活衛生同業組合／
 財角川文化振興財団／財デジタルレコンテンツ協会／
 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団／
 社デジタルメディア協会／NPO法人映像産業振興機構／
 社日本映像ソフト協会／東京国立近代美術館フィルムセンター
 補 助：財JKA(競輪補助事業)
 助 成：独日本芸術文化振興会(芸術文化振興基金)
 スペシャルパートナー：トヨタ自動車(株)
 オフィシャルパートナー：株木下工務店／日本コカ・コーラ(株)／キヤノン(株)
 協 賛：パナソニック(株)／大和証券グループ／株ファンケル／楽天(株)／ソニーPCL(株)／
 森ビル(株)／株WOWOW／株SANKYO／凸版印刷(株)／株AOKI／
 富士フィルム(株)／びあ(株)／株ローソン／松竹(株)／東宝(株)／東映(株)／
 角川映画(株)／日活(株)／TOHOシネマズ(株)／
 一般社団法人映画演劇文化協会／株ティーワイリミテッド
 特別協力：読売新聞
 協 力：CineGrid／帝人(株)／テレビ朝日／J-WAVE／ゲッティイメージズジャパン(株)／
 株Jストリーム／TOKYO MX／ジュピターエンタテインメント(株)／
 株ウェブインパクト
 フードサポーター：株宗家 源吉兆庵／白ハト食品工業(株)
 対 象：海外招聘ゲスト、国内招聘ゲスト、業界関係者、一般
 来場者：121,010人

■内容

- オープニング**：10月23日(土) 六本木エリアにて
 グリーンカーペット、オープニング・セレモニー、オープニング上映『ソーシャル・ネットワーク』、オープニング・レセプション及びグリーンタイ晚餐会。
 『トロン：レガシー』フッテージ上映。
- クロージング**：10月31日(日) 六本木エリアにて
 グリーンカーペット、クロージングセレモニー(各賞授賞式)、クロージング上映『ザ・タウン』、感謝の夕べ(懇親会)
- 作品上映：主要部門**
 コンペティション、特別招待作品、アジアの風、日本映画・ある視点、WORLD CINEMA、natural TIFF supported by TOYOTA
 受賞結果：東京サクラグランプリ

審査員特別賞	『僕の心の奥の文法』
最優秀監督賞	『一枚のハガキ』
最優秀女優賞	ジル・パケ＝ブレネール『サラの鍵』
最優秀男優賞	ファン・ビンビン『ブッダ・マウンテン』
最優秀芸術貢献賞	ワン・チエンユエン『鋼のピアノ』
観客賞	『ブッダ・マウンテン』
TOYOTA Earth Grand Prix	『サラの鍵』
TOYOTA Earth Grand Prix 審査員特別賞	『水の惑星 ウォーターライフ』
最優秀アジア映画賞	『断崖のふたり』
アジア映画賞 スペシャル・メンション	『虹』
日本映画・ある視点 作品賞	『タイガー・ファクトリー』
	『歓待』

●共催・提携企画

みなど上映会、日本映画監督協会新人賞・上映とシンポジウム、コリアン・シネマウイーク2010、2010東京・中国映画週間、田辺・弁慶映画祭2010、第7回文化庁映画週間—Here & There、第23回東京国際女性映画祭、CONNECT USA、ショートショート フィルム フェスティバル&アジア「フォーカス・オン・アジア」&ワークショップ、イタリア映画上映会—“あゝ結婚”

●マーケット

TIFFCOM2010



© 2010 TIFF



© 2010 TIFF



© 2010 TIFF



© 2010 TIFF



© 2010 TIFF



© 2010 TIFF

オフィシャルイベント

文化庁映画週間
Here.These
 Bunka-Chō Film Week



名 称：第7回文化庁映画週間 -Here & There
 会 期：2010年10月23日(土)～10月30日(土)
 会 場：六本木ヒルズ 他
 主 催：文化庁／公益財団法人ユニジャパン
 対 象：一般
 来場者：1,828人

■内容

●平成22年度文化庁映画賞贈呈式

10月23日(土) 18:30～

- ・文化記録映画部門

文化記録映画大賞 『ただいま それぞれの居場所』
 文化記録映画優秀賞 『こつなぎ 山を巡る百年物語』
 文化記録映画優秀賞 『月あかりの下で～ある定時制高校の記憶～』

- ・映画功労部門

井上治(映画編集)／笹川ひろし(アニメーション監督)／
 杉井ギサブロー(アニメーション監督)／築地米三郎(特撮)／
 橋本泰夫(映画録音)／松下潔(映画美術・背景)／渡辺生(映画照明)



●平成22年度文化庁映画賞受賞記念上映会

10月24日(日)

11:00～ 『月あかりの下で～ある定時制高校の記憶～』

14:30～ 『こつなぎ 山を巡る百年物語』

18:15～ 『ただいま それぞれの居場所』

●シンポジウム – MOVIE CAMPUS –

10月27日(水) 13:00～16:45

モデレーター：関口裕子氏(パラエティ・ジャパン編集長)

第一部「映画『桜田門外ノ変』から生まれた映画づくり・ひとつくり・まちづくり」

ゲスト：佐藤純彌(映画監督)

橋川栄作(茨城県知事公室広報広聴課広報戦略室室長補佐)

第二部「ヨーロッパシネマについて」

ゲスト：ヘンク・キャンピング(オランダ・ユトレヒト映画館「フィルムシアター ヘット・ホーフト」ディレクター)

第三部「映画文化維新!時代を変える新しい興行文化のつくり方」

ゲスト：梅津文(GEM Partners代表取締役)

吉村知己(株)ヨアケ代表取締役)

下地久美子(桜坂劇場番組編成)

武田和(一般社団法人映画演劇文化協会)

●映画人の視点 Filmmaker's Angle

10月23日(土)

「映画人、小泉今日子の世界」

カンファレンス 22:00～／スクリーニング 24:00～

出演： 小泉今日子(女優)

10月29日(金)

「映画人、種田陽平の世界」

カンファレンス 22:00～／スクリーニング 24:00～

出演： 種田陽平(映画美術監督)

10月30日(土)

「映画人、りんたろうの世界」

カンファレンス 22:00～／スクリーニング 24:00～

出演： りんたろう(アニメーション監督)

●映画ナビゲーターズ

10月29日(金)18:30～ 出演：ラレコ(Flashアニメーション監督)

10月30日(土)18:30～ 出演：古屋雄作(映像ディレクター)



© 2010 TIFF



© 2010 TIFF

オフィシャルイベント **TIFFCOM 2010** Marketplace for Film & TV in Asia

名 称：TIFFCOM2010 Marketplace for Film & TV in Asia
 会 期：2010年10月25日(月)～10月28日(木)
 会 場：六本木ヒルズ森タワー 六本木アカデミーヒルズ40F・49F
 主 催：経済産業省／公益財団法人ユニジャパン
 共 催：第23回東京国際映画祭
 後 援：(社)全日本テレビ番組製作社連盟／
 一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会／
 一般社団法人映画産業団体連合会／(社)外国映画輸入配給協会／
 協同組合日本映画製作者協会／(社)衛星放送協会／
 (社)日本映像ソフト協会／一般社団法人日本映画製作者連盟／
 (社)日本経済団体連合会／一般社団法人日本レコード協会／
 一般社団法人日本動画協会／(財)音楽産業・文化振興財団／
 (社)日本民間放送連盟／映像産業振興機構
 関連イベント：TPG 2010 (Tokyo Project Gathering 2010)
 連携企画：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2010
 連携イベント：東京国際ミュージックマーケット／東京国際アニメ祭 2010秋／
 クリエイティブ・マーケット東京／
 ユニジャパンエンタテインメントフォーラム
 対 象：業界関係者
 来場者：21,095人

■内容

●出展者データ

出展団体数：222(2009年：212)
 出展参加国：21の国と地域(2009年：18)
 新規出展参加国：デンマーク、イラン、シンガポール
 海外パビリオン出展：中国・韓国・マレーシア・フィリピン・台湾・タイ



●来場者データ

事前来場登録：4,162(2009年：4,037)
 事前登録国数：55の国と地域(2009年：47)
 国内外比率：日本63% 海外37% (2009年：日本71% 海外29%)

●同時開催

TPG-Tokyo Project Gathering
 企画マーケット：総企画数28・総ミーティング数399件
 2010TPGアワード：「ハラがコレなんで」(石井裕也監督作品)

CoFesta 2010

オフィシャルイベント



名 称：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2010
会 期：2010年10月25日(月)～10月28日(木)
会 場：明治記念館／千代田放送会館／六本木ヒルズ
主 催：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 実行委員会
(構成団体)
(社)日本民間放送連盟／(株)TBSテレビ／日本テレビ放送網(株)／
(株)テレビ朝日／(株)フジテレビジョン／(株)テレビ東京／(株)WOWOW／
日本放送協会／スカパーJSAT(株)／(社)日本映画製作連盟／松竹(株)／
東宝(株)／東映(株)／角川映画(株)／(社)日本音楽事業者協会／
実演家著作隣接権センター／(社)全日本テレビ番組製作連盟／
NPO 法人映像産業振興機構／(社)日本映画テレビプロデューサー協会
協 賛：(株)電通／(株)博報堂DYメディアパートナーズ
共 催：総務省／経済産業省
連携企画：TIFFCOM
対 象：業界関係者／一般(上映会・シンポジウム)
来場者：1,800人



■内容

●「東京ドラマアワード 2010」授賞式・パーティ

- ・司会 石坂浩二、滝川クリステル
- ・ゲスト 芦田愛菜、大沢たかお、尾野真千子、香川照之、加藤清史郎、松雪泰子、など
- ・海外ゲスト ドゥー・ウェイ(中国)、サヴィター・プラブネー、プージャ・ピハール(インド)、イ・ビョンホン(韓国)、セレスト・チャン(シンガポール)、など

●海外作品上映会

- 中国作品「彼と私と両家の事情」 第1話
インド作品「Pavitra Rishta～永遠の絆」 第289話
韓国作品「IRIS-アイリス-」 第1話
シンガポール作品「レッド・スレッド～赤い糸～」 第1話

●シンポジウム

- ・シンポジウム① 日本コンテンツの国際市場におけるビジネスの現状～ヨーロッパの放送業界からみた日本の魅力と課題～
出演：ローリンヌ・ガロッド (リード・ミディム社 MIPTV/MIPCOM 総合ディレクター)
マチュー・ベジヨー (TVフランス・インターナショナル ディレクター)
ヴァージニア・ムスラー (THE WIT CEO)
ブルーノ・デロワ (カナル・プリュス ディレクター)
- ・シンポジウム② 「JIN -仁-」(TBSテレビ)
ヒットドラマの舞台裏～『JIN -仁-』の目指すもの～
出演：小出恵介 (俳優)
石丸彰彦 (TBSテレビ・プロデューサー)
平川雄一朗 (株)オフィスクレッセンド ディレクター)
進行：中町綾子 (日大芸術学部教授)

●TIFFCOMにおける国際ドラマフェスティバル・ブース

- ・海外作品の出演者等によるトークショー
- ・「東京ドラマアワード 2010」受賞作品および放送各局の放送番組の紹介



オフィシャルイベント

名 称：第7回東京国際ミュージックマーケット
 会 期：2010年10月25日(月)～10月28日(木)
 会 場：品川プリンスホテル／ステラボール
 主 催：経済産業省／(財)音楽産業・文化振興財団
 協 力：一般社団法人日本レコード協会／NPO法人映像産業振興機構
 後 援：外務省／(社)私的録音補償金管理協会／一般社団法人日本音楽著作権協会／
 (社)日本芸能実演家団体協議会／(社)日本音楽事業者協会／
 一般社団法人日本音楽出版社協会／(社)音楽制作者連盟／
 (社)全国コンサートツアー事業者協会／公益財団法人ユニジャパン
 対 象：音楽産業関係者(アニソンライブのみ一般観客も無料招待)
 来場者：3,290人



■内容

1. TIMM オープニングセレクション

10月25日(月) 19:00～21:00 @品川プリンスホテルメインタワー宴会場(10F大津)
 ・参加者数…270名(今年はレコード会社洋楽担当者も参加)
 ・TIFFCOMから日本音楽とのマッチング希望者(10数名)も参加

2. 商談会

10月26日(火) 11:00～17:00 / 10月27日(水) 12:00～17:00 @ステラボール
 1)海外バイヤー74名(欧米…5ヶ国39名、アジア…7ヶ国35名)
 内訳) アメリカ…9、イギリス…7、ドイツ…2、フランス…19、オーストラリア…2、
 フィンランド…2、韓国…15、台湾…6、中国…3、香港…6、タイ…2、マレーシア…1
 2)商談会ブース出展
 参加社数…39ブース 41社(国内35、海外6) 41小間(昨年：国内のみ27社)



3. ビジネスセミナー

- 1) 10月27日(水) 10:30～「フランスでの邦楽アーティストのプロモーション展開法」
 モデレーター: シボ・サエ
 パネリスト: トマス・サーディ(JTS) ニコラス・バーキュ(FNAC)
 関根直樹(EPICレコード) セバスチャン・ルチャット(NolifeTV)
- 2) 10月28日(木) 12:00～「アニメソングの世界展開における現状と課題」
 対談形式: 井上俊次(ランティス) 石原真(NHK)
- 3) 10月28日(木) 14:30～「アジアのデジタル音楽マーケット」
 モデレーター: スティーヴ・マックルレー
 パネリスト: ギャリー・マッケンジー(Valleyarm)
 バーニー・チョウ(DFSBコレクティブ)
 デイビット・ブランド(Platinum Marketing and Distribution Company)



4. アニソンライブ及びクロージングパーティ

10月28日(木) 18:00～23:00 @ステラボール
 1)ショーケースライブ出演アーティスト 11組
 TOKYO BRASS STYLE／工藤真由／Kalafina／彩音／中野腐女シスターズ
 ニルギリス／Daisy×Daisy／中島愛／米倉千尋／喜多修平／黒崎真音
 一般入場者…1,700名強、関係者数…250名
 2)クロージングパーティ
 ステラボール2Fにて出演アーティストと海外バイヤーとの交流会として開催



5. 広報関連

- 1) TV
 NHK「ゆうどきネット」「首都圏ネット」「Biz スポ」(3番組とも10/26放送)
 「クローズアップ現代」(11/16)「J-MELO」(11/28)「NEWS LINE」(11/29)
 他、web系、活字媒体等、多数掲載



6. その他

- ・TIFFCOM連携イベント: TPG(Tokyo Project Gathering)
 10月25日(月) 12:00～14:00 @六本木ヒルズ森タワー2F
 6企画が日本音楽のマッチングを希望 日本側レコード会7社が参加
- ・外部イベントライブ実施
 日時: 2010年10月26日(火) 会場: 渋谷 Duo Music Exchange
 出演: (日本) Kimeru、スマーレマン、腐男塾、牧野由依
 (韓国) SM☆SH、Hemin (タイ) Chinawut

CoFesta 2010

オフィシャルイベント ATP Awards TV Grand Prix 2010



名 称：第27回 ATP 賞テレビグランプリ 2010
会 期：2010年10月29日(金)
会 場：六本木ヒルズ 六本木ハリウッドホール
主 催：(社)全日本テレビ番組製作社連盟(ATP)
後 援：総務省／経済産業省／日本放送協会／日本民間放送連盟
対 象：省庁／製作会社／放送事業者／関係諸団体他
来場者：500人

■内容

第27回『ATP 賞テレビグランプリ 2010』の受賞式が10月29日(金)に約500名の関係者を集め六本木ハリウッドホールにて盛況裡に開催された。冒頭、平岡秀夫総務副大臣、福地茂雄NHK会長、福田俊男日本民間放送連盟専務理事、迫本淳一JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行副委員長よりご挨拶を頂戴した。

今年度の応募作品は、115本(新人賞11作品含む)の中から《ドラマ部門》NHKドラマ10「八日目の蝉」(製作：テレパック／放送：NHK総合)が会員社及び審査委員(審査委員長：山口秀矢審査委員長・(株)えふぶんの巣)の投票によって選出された。

投票結果は、下記の通り。

尚、2010年度の受賞作品一覧及び応募作品一覧、審査講評は、ATPホームページ(http://www.atp.or.jp/award/award_027.html)にて参照のこと。

総投票数 100票(有効 98票)

◇最優秀賞

《ドラマ部門》 41票

◆NHK ドラマ10「八日目の蝉」 テレパック／NHK総合

“不倫” “虐待” “誘拐”といった現代的な現象を背景に“母性”という普遍的なテーマに迫った、連續ドラマ。

オールロケが貫かれ、緊迫感あふれる逃亡劇のサスペンスと、女の心の奥底を見つめる情念の世界が見事に描かれていた。



《ドキュメンタリー部門》 32票

◆特集番組「二つの木」 NHKエンタープライズ／NHK総合

ガンと闘った夫婦の物語。遺された日記・写真・パソコン資料などを手がかりに、夫婦が過ごした情景を、四季の移ろいの中で揺れ動く心情を鮮やかに浮かび上がらせていた。日記の朗読(出演・片岡仁左衛門、竹下景子)そのものをドキュメントした岡崎栄演出の覚悟と腕力に脱帽した。

命と愛を、静かに、深く凝視した作品は、審査委員の圧倒的な支持を受けて最優秀賞に選出された。



《情報バラエティ部門》 25票

◆「タイムスクープハンター」スペシャル 幕末決死行!—江戸牢獄・限界長屋の実態— NHKエンタープライズ・ピクス／NHK総合

これまでの歴史番組では決して主役にならなかつた庶民・下級武士など・・・名も無き人々に焦点をあて、タイムスリップという手法で描く実験的要素の強い作品。時代考証を含め、緻密な資料発掘。人間のもつ脆さ・滑稽さ・人情などがリアルに描かれ、演出・中尾浩之の鬼才ぶりがいかんなく發揮されていた。

◆白票 2票



オフィシャルイベント



電子書籍・コミック サミット in 秋葉原
Electronic Book & Manga Summit in Akihabara

名 称：電子書籍・コミック サミット in 秋葉原
会 期：2010年11月12日(金)～11月14日(日)
会 場：秋葉原UDX
主 催：「電子書籍・コミック サミット in 秋葉原」実行委員会
共 催：経済産業省/NPO法人映像産業振興機構
後 援：コミック10社会(秋田書店/角川書店/講談社/集英社/小学館/
少年画報社/新潮社/白泉社/双葉社/リード社)
日本電子書籍出版社協会/デジタルコミック協議会
対 象：クリエイター、出版関連業界、一般
来場者：10,312人

■内容

<カンファレンス> 11月12日(金)

電子書籍元年において、コミックを中心とした出版産業における新たな表現方法や、新たにビジネスモデル等について、国内外の各分野からの代表者・有識者・作家等をパネリストとして招聘し、カンファレンスを開催した。

11:00 基調講演「iPadへの挑戦—編集者の力」～クラウド時代に出版社が飛躍するために～
角川グループホールディングス 取締役会長 角川 歴彦

13:00 講演「デジタルコミックの海外展開」
集英社 専務取締役 鳥嶋 和彦

14:15 対談「著名作家と出版社が電子書籍の未来を語る！」
作家 福井 晴敏

日本電子書籍出版社協会 代表理事/講談社 代表取締役副社長 野間 省伸

16:00 シンポジウム「電子書籍の有力プレイヤーが明かす最新情報と未来形」

アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 所長 遠藤 諭

アマゾンジャパン バイスプレジデント・メディア事業部門長 渡部 一文

エヌ・ティ・ティ・ドコモ 代表取締役副社長 辻村 清行

経済産業省 商務情報政策局 文化情報関連産業課 課長 信谷 和重

米ソニー・エレクトロニクス シニア・バイス・プレジデント 野口 不二夫

角川書店 常務取締役 新名 新(モデレーター)

<プレゼンテーション> 11月13日(土)

コミック・広告・ゲームの各分野から著名プレゼンターが集結、次世代を担う若いクリエイター向けに、電子書籍時代の新たな表現方法、技法と革新的な発想を発表。今後の電子書籍・コミック制作における創造力支援、参考事例を発表した。

11:00 「紙から離れたまんが表現はどのように変わることができるのか
～電子コミックの新しい表現方法をめぐって」

神戸芸術工科大学 まんが表現学科 教授 大塚 英志

神戸芸術工科大学 まんが表現学科自主ゼミ生

13:00 「広告の視点から考える電子出版の可能性」

博報堂DYメディアパートナーズ/F1メディア 半田 勝彦

博報堂DYメディアパートナーズ 上路 健介

コピーライター 谷山 雅計

博報堂DYメディアパートナーズ 加藤 薫(モデレーター)

15:00 「電子書籍時代の新しいゲーム表現」

作家 安田 均

エンタープライズ 代表取締役社長 浜村 弘一

<展示> 11月13日(土)・14日(日)

電子書籍・コミックの国際ビジネス展開の現状や今後のビジネスチャンスの存在についての認識を促すため、世界中で発売されている最新の電子書籍端末などデジタルデバイス等や最新のソフトウェア(コミックや書籍)を紹介する展示を実施した。

加えて、客観的な視点やマーケット動向など最新の調査結果を展示した。

<電子コミック作品の募集・制作> 2010年12月～2011年3月

電子コミック作品ならびに電子コミックならではの映像表現等エフェクトの演出やアイデア作品を広く募集。2ヶ月間の募集期間を経た後、応募作品の審査および優秀作品の発表に加え、優れた演出・表現方法を実際の電子コミック作品に制作、発表を実施。

※以上、全て敬称略



オフィシャルイベント

「第4回 ロボット大賞」



①



②



③



④



⑤



⑥

名 称：第4回 ロボット大賞
 会 期：2010年11月26日(金)～11月28日(日)
 会 場：日本科学未来館
 主 催：経済産業省／(社)日本機械工業連合会
 協 賛：(財)機械振興協会
 協 力：日本科学未来館／(独)中小企業基盤整備機構／(社)日本ロボット工業会／
 (社)日本ロボット学会／(社)日本機械学会／(社)人工知能学会／
 (社)日本人間工学会
 対 象：関係者および一般
 来場者：5,189人

■内容

●「第4回 ロボット大賞」受賞式（11月26日(金)10:30～11:20）

全92件から、優秀賞12件が選ばれ、その中より「第4回 ロボット大賞」（経済産業大臣賞）ほか各賞の受賞式が行われた。「第4回 ロボット大賞」は、「安全・快適に人と協働できる低出力80W駆動の省エネロボット」（トヨタ自動車ほか4者）が受賞した。※写真①

●「受賞者プレゼンテーションステージ」（11月26日(金)13:15～16:30）

12件の受賞担当者より、ロボットの特徴や開発秘話などを10分間で紹介。その後、審査委員や主催者、一般聴講者との質疑応答を行った。ロボットの開発担当者が説明を行ったこともあり、“安全面での取り組み” “今後の市場展開”など、具体的な質問が多く挙がった。※写真②

●受賞ロボットの展示（11月26日(金)～28日(日)10:00～17:00）

12件の受賞ロボットを会場内に展示。ほとんどが実機を持ち込み、実演を行った。サービスロボット部門では、「2足歩行ロボット」や「イチゴ収穫ロボット」に多くの人が集まり、産業用ロボット部門では、「ピッキングロボット」の高速作業に子供達が集まり、担当者にも積極的に質問する姿が印象的であった。※写真③

●ロボット未来シンポジウム、ロボットの学校（11月27日(土)11:00～16:30）

「ロボット未来シンポジウム」では、パワーアシストスーツ「HAL」を開発した筑波大学の山海教授が講演。子供達も楽しめるように、「HAL」のミニ映画も紹介した。「ロボットの学校」では、サービスロボット分野で活躍する方を講師に招き、高校生を中心に授業を行った。※写真④

(内容)

- 1限目：富士ソフト PALRO
- 2限目：産業技術総合研究所 知能システム研究部門 主任研究員 柴田 崇徳
- 3限目：大阪大学 教授 石黒 浩
- 4限目：千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター所長 古田 貴之

●ロボット演劇「働く私」（11月29日(日)）

平田オリザの監督・脚本・演出によるロボット演劇「働く私」の都内初公演。ロボットと共に暮らす生活を表現した。

時間：1回25分(11:00／13:00／16:00) ※写真⑤

●ロボット工作教室（11月29日(日)）

体験型ワークショップでは、手をたたくと走る車「ぱこかー」、色の変化によって感情を伝える「ココナッチ」、「レゴマインドストーム」を使用したロボット製作を行った。

各ワークショップは、午前と午後の計2回。いずれも事前登録で定員締め切り。
 ※写真⑥



CoFesta2010 Partner Events

コ・フェスタ パートナーアイベントとは、コンテンツ産業（ゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画）、およびファッショング、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業の各業界・組織が主催するイベントで国際性、規模等でオフィシャルイベントに準じるもので JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行本部が認めたイベント。

第32回 PFF ひあフィルムフェスティバル

クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 2010(CrlS関西)

第1回 国際科学映像祭

第5回札幌国際短編映画祭 (SAPPOROショートフェスト2010)

吉祥寺アニメーション映画祭

JVA FESTA 2010

第2回むつデジタル映像フェスティバル

全映協フォーラム 2010

CP+2011(シーピープラス)

パートナーアイベント 第32回ぴあフィルムフェスティバル

名 称：第32回ぴあフィルムフェスティバル
 会 期：2010年7月16日(金)～30日(金)
 場 所：東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール
 京都、福岡、神戸、名古屋で順次開催
 主 催：PFFパートナーズ=ぴあ、TBS／公益財団法人ユニジャパン
 共 催：東京国立近代美術館フィルムセンター／PFFサポートーズ=ホリプロ
 後 援：文化庁／(社)日本映画製作者連盟／NPO法人映像産業振興機構(VIPO)／
 協同組合日本映画監督協会
 特別協賛：セガサミーグループ
 協 賛：(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構／住友スリーエム(株)
 協 力：早稲田大学
 対 象：一般観客、映画監督志望者、映画製作・配給等関係者、映画・映像教育
 機関関係者
 来場者：7,183人

■内容

●コンペティション部門「PFFアワード2010」：応募総数527本から16作品の入選作品を東京開催中に2回上映し、最終日の表彰式にてグランプリをはじめ、協賛企業賞など各賞を発表。●第20回PFFスカラシップ作品「家族X」プレミア上映●招待企画：①若松孝二監督特集：最新作「キャタピラー」が話題の同監督にスポットを当て、同作をはじめ初期作品の上映や、石井岳龍(聰互)、阪本順治、瀬々敬久監督との対談形式による講座を実施。②ジョン・カサヴェテス監督特集：世界の映画監督に多大な影響を与える続ける監督の代表作を特集。③短編スペシャル：アニメーターとして世界的に著名な山村浩二監督をはじめ、平林勇、鈴木卓爾＆矢口史靖監督等を特集。④日本映画プレミア：「トイレット」「ゲゲゲの女房」「ヘンズストーリー」を上映。その他、韓国的新鋭イ・サンウ監督等を特集。



パートナーアイベント 第1回 国際科学映像祭

名 称：第1回 国際科学映像祭
 会 期：2010年9月11日(土)～10月11日(月)
 会 場：科学技術館／府中市郷土の森博物館／UDXシアター／他
 関東一円、科学館・プラネタリウム館など31施設
 主 催：第1回 国際科学映像祭実行委員会
 共 催：大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台／
 第2回東京国際科学フェスティバル実行委員会
 対 象：一般、科学館職員、研究者、技術者など
 来場者：193,228人

■内容

科学技術映像は、日々数多く生み出されているが、私たちが目にする機会は限られている。良質な科学映像コンテンツを広く紹介し、多くの人々に見ていただく機会を提供し、皆さんで科学に対する“驚き”と“感動”を共有したいと思っている。併せてコンテンツや技術開発に関わる人々の情報交換及び科学映像クリエータの発表の場として第1回国際科学映像祭を開催した。

期間中には、関東一円の科学館やプラネタリウム館など31施設にて、科学映像の上映及び、スタンプラリーを実施した。

また、コアイベントとして以下の3つのイベントを開催した。

- ・サイエンスフィルムカフェ2010～科学映像がおもしろい～（会場：科学技術館）
 科学技術映像祭入選作品及び科学映像クリエータ等の映像作品上映とトーク
- ・ドームフェスタ（会場：府中市郷土の森博物館）
 国内外のドーム映像作品21本の上映及び海外からの招待講演
- ・3Dフェスタ（会場：UDXシアター）
 3D科学映像作品10本の上映とトーキイベント、企業ブース展示



パートナーイベント

クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 (CrIS 関西)



CrIS KANSAI
CREATIVE INDUSTRY SHOWCASE



なら国際映画祭 2010



DESIGN 優品関西



びわ湖大津 秋の音楽祭



KYOTO CMEX 2010

名 称：クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 2010 (CrIS 関西)
 会 期：2010年8月25日(水)～12月25日(土)
 会 場：関西各地域(大阪／兵庫／京都／奈良／滋賀／和歌山)
 主 催：近畿経済産業局／(社)関西経済連合会 CrIS 関西 2010 事務局
 内 容：CrIS 関西は、クリエイティブ・ビジネスの新たな市場形成を進めるため、マーケットの形成、多様な人材交流・人材育成、情報発信力等を促進することを目的に実施している。今年は、より産業化を意識した事業に軸足を移し、BtoB事業、人材育成事業、観光コンテンツ事業の各分野に絞り込みを行い、昨年を上回る21イベントの参加を得、実施された。

● CrIS 関西 2010 参加イベント

名 称：なら国際映画祭 2010
 会 期：8月25日(水)～28日(土)
 会 場：奈良県文化会館界隈
 主 催：NPO 法人なら国際映画祭実行委員会
 参加者：5,527人

■ 内容

平城遷都1300年の節目となる記念すべき年に、奥深い伝統文化と美しい自然の調和する「奈良」を世界に発信する映画祭。また同時に有形・無形の文化遺産や、地場産業の魅力を国内外に積極的にアピールし地域活性化を目的として開催された。

名 称：DESIGN 優品関西
 会 期：9月3日(金)～4日(土)
 会 場：中之島パンクス EAST 棟
 主 催：(財)大阪デザインセンター／大阪府産業デザインセンター
 参加者：704人

■ 内容

関西ものづくり企業やデザイナーが開発に携わった“暮らしに身近な選りすぐりのデザイン商品”を展示(一部販売)。関西デザイン・技術レベルの高さを可視化、国内外に広く訴求を目的として開催された。

名 称：びわ湖大津 秋の音楽祭
 会 期：9月18日(土)～11月23日(火・祝)
 会 場：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールのほか、大津市市外の各施設など
 主 催：びわ湖大津秋の音楽祭運営協議会
 参加者：7,838人

■ 内容

大津市中心市街地活性化の取り組みの一環として、大津祭のある時期に、地域文化施設や企業団体が参加して、オペラ、クラシックコンサート、歌舞伎、ダンスなどジャンルにとらわれない音楽祭が開催された。

名 称：KYOTO CMEX 2010
 会 期：9月25日(土)～12月12日(日)
 会 場：太秦・烏丸御池エリアなど
 主 催：KYOTO Cross Media Experience 実行委員会
 参加者：88,633人

■ 内容

マンガ・アニメイベント、CGアニメコンテスト、太秦シネマフェスティバル、HISTORICA(映画祭)、クリエーターズサミット、京都映画若手才能育成ラボ等の活動を一体的に開催し、クロスメディアの観点から、京都のポテンシャルと魅力を国内外に発信した。

名 称：LIVING & DESIGN ～すまいのリノベーション TOTAL INTERIOR～

会 期：9月29(水)～10月2日(土)

会 場：インテックス大阪 2号館

主 催：大阪国際見本市委員会

参加者：10,596人

■内容

住空間関連企業やクリエイター等、海外を含み、昨年よりさらに多くの出展者を得て、これからのすまいについての新しいアイデアを提案。完成度の高い住空間の新しいコンセプトに出会える国際見本市が開催された。



LIVING & DESIGN ～すまいのリノベーション TOTAL INTERIOR～

名 称：信楽陶芸トリエンナーレ2010『信楽まちなか芸術祭』

会 期：10月1日(金)～11月23日(火・祝)

会 場：滋賀県甲賀市信楽町一円

主 催：信楽陶芸トリエンナーレ実行委員会

参加者：236,933人

■内容

伝統技術が受け継がれ、窯跡や古民家などやきものの郷としての風景も残されているこの地域で、陶芸をテーマにした多彩なアートイベントが街中で開催され、信楽ブランドが発信された。



信楽陶芸トリエンナーレ 2010『信楽まちなか芸術祭』

名 称：テクニカルコミュニケーションシンポジウム 2010[京都開催]

会 期：10月7日(木)～10月8日(金)

会 場：京都テルサ

主 催：(財)テクニカルコミュニケーション協会

参加者：340人

■内容

メーカーからの一方的な情報提供から、インターネットの普及によりユーザー側も情報を受発信するようになった現代で、情報を介して一体となった情報の世界(情報ライブ感)ができつつある。このような状況のなかで、我々が何をすべきか共に考える2日間。



テクニカルコミュニケーションシンポジウム 2010 [京都開催]

名 称：オープン・イノベーションICTシンポジウム in 京都

会 期：10月12日(火)～10月13日(水)

会 場：京都リサーチパーク 東地区

主 催：京都地サチパーク(株)

参加者：828人

■内容

ICT関連の大手企業とのビジネスマッチング、海外を含めたICTについての情報交換の場として開催された。IT関連企業と欧州など10カ国ICT展示及びプレゼンテーションが行われた。



オープン・イノベーション ICT シンポジウム in 京都

名 称：ゆるキャラ®まつり in 彦根～キグるミさみつと 2010～

会 期：10月23日(土)～24日(日)

会 場：夢京橋キャッスルロード／四番町スクエア／銀座街／

登り町グリーン通り／花しょうぶ通りの各商店街

主 催：ゆるキャラ®まつり in 彦根実行委員会

参加者：75,000人

■内容

ゆるキャラブームの火付け役となった「ひこにゃん」をはじめ、各地域のキャラクターがそれぞれの地域への誘客と地域イベントのPRが行われ、ゆるキャラを観光コンテンツとして発信。



ゆるキャラ®まつり in 彦根～キグるミさみつと 2010～

CoFesta 2010

パートナーイベント

クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西 (CrIS 関西)



クリ博 就職セミナー 大阪



大阪創造取引所 2010



学生映像コンテスト BACA-JA2010 受賞作発表・上映会



田辺・弁慶映画祭 2010



FM802 MINAMI WHEEL 2010



NAKAZAKI JAZZ JAMBOREE

名 称：クリ博 就職セミナー 大阪

会 期：10月26日(火)

会 場：大阪大学 中之島センター10F 佐治敬三メモリアルホール

主 催：(株)デジタルスケープ／クリ博ナビ 2012

参加者：201人

■内容

ゲーム、アニメ、映像、映画、音楽、Web、ITなどのコンテンツ産業に特化したクリエイティブな学生のための就職サイト「クリ博ナビ 2012」の関連イベント。メディアコンテンツ産業を目指す2012年卒業予定の大学生・大学院生を対象に開催された。

名 称：大阪創造取引所 2010

会 期：10月26日(火)～27日(水)

会 場：堂島リバーフォーラム

主 催：近畿経済産業局／(社)関西経済連合会／大阪府／大阪市／大阪商工会議所

参加者：2,965人

■内容

産業用コンテンツから、メディアコンテンツまで新しい出会いでビジネス機会を広げる、展示・商談イベント。3回目となる今年はますますアップ。

名 称：学生映像コンテスト BACA-JA2010 受賞作発表・上映会

会 期：11月2日(火)

会 場：大阪大学中之島センター

主 催：関西テレビ放送

参加者：200人

■内容

全国メディア・芸術系の大学、専門学校学生を対象にした日本で唯一の映像コンテスト。2010年度受賞作品の発表・上映会が行われた。

名 称：田辺・弁慶映画祭 2010

会 期：11月5日(金)～11月7日(日)

会 場：紀南文化会館小ホール

主 催：田辺・弁慶映画祭実行委員会

参加者：833人

■内容

地域の情報発信チャンネル拡大、次世代を担う監督の育成を意図しながら、映画文化による地域活性化を目指す目的で開催された。

名 称：FM802 MINAMI WHEEL 2010

会 期：11月12日(金)～14日(日)

会 場：ミナミエリア周辺ライブハウス

主 催：FM802／MINAMI WHEEL 2010 事務局

参加者：16,000人

■内容

次代を担う新人アーティストのショーケースライブと関西地区以外からのアーティストも招いたパフォーマンスが大阪のミナミエリアで開催された。

名 称：NAKAZAKI JAZZ JAMBOREE

会 期：11月23日(火・祝)

会 場：大阪 中崎町エリア

主 催：西日本電信電話株式会社

参加者：5,485人

■内容

いわゆるジャズイベントとは一線を画すイベント、それが「NAKAZAKI JAZZ JAMBOREE」。新しいジャズの楽しみ方を提案するとともに、ライブだけではなく、中崎町エリア全体に、「ジャズ」をキーワードとした、様々なフレバーが発信された1日となった。

名 称：第30回「地方の時代」映像祭 2010～地域からこの国を問う～

会 期：11月20日(土)～26日(金)

会 場：関西大学千里山キャンパス

主 催：日本放送協会／日本民間放送連盟／関西大学／吹田市

参加者：2,400人

■内容

「地方の時代」というキーワードで放送界、市民・自治体、学校が相互に学びあい、新たな方向性、アプローチが展開された。



第30回「地方の時代」映像祭 2010～地域からこの国を問う～

名 称：第5回 湖族の郷アートプロジェクト

会 期：11月20日(土)、21日(日)、23日(火・祝)、27日(土)、28日(日)

会 場：大津市堅田地域

主 催：湖族の郷アートプロジェクト実行委員会

参加者：2,500人

■内容

成安造形大の有志の学生、他大学、地元作家などが、堅田の町中に作品全体展示を行い空きカフェ、アートマーケット等参加者の楽しめる企画。同時にチャレンジギャラリーART&CAFÉ飛田邸をオープンし若手作家の発表の場が提供された。



第5回 湖族の郷アートプロジェクト

名 称：第6回 学生国際ショートムービー映画祭 in 関空

会 期：11月27日(土)

会 場：関西国際空港エアロプラザ

主 催：NPO法人南大阪地域大学コンソーシアム

参加者：52人

■内容

学生の制作によるショートムービーのための映画祭。CM制作のための商談会が同時開催された。



第6回 学生国際ショートムービー映画祭 in 関空

名 称：第15回アニメーション神戸

会 期：7月31日(土)～12月28日(火)

会 場：神戸国際会議場メインホール 他

主 催：アニメーション神戸実行委員会／神戸市／神戸デジタルコンテンツ振興会議

参加者：19,766人

■内容

商用アニメーションの各部門における優れた作品やクリエーターを表彰するアワードや、アニメーション映像における将来有望な若手クリエーターを発掘、育成するコンテスト等が実施された。



第15回アニメーション神戸賞

名 称：Japan Pop Culture Festival 2010

会 期：11月20日(土)～21日(日)

会 場：関西国際空港

主 催：Japan Pop Culture Festival 2010 実行委員会

参加者：5,000人

■内容

日本のポップカルチャーコンテンツを国際空港に集め、新しいコンテンツの創造を目指すとともに、京阪神を中心に新しい観光コンテンツを生み出し世界に発信することでインバウンドの誘致がはかられた。



Japan Pop Culture Festival 2010

名 称：Cool Experience in Japan

会 期：12月17日(金)～19日(日)

会 場：名村造船所跡地

主 催：Kansai Creative Factory 推進協議会

参加者：702人

■内容

大阪の木津川沿い名村造船所跡地において、建物全体をアートプロジェクトで幻想的に装飾するとともに、日本初となるノンバーバルパフォーマンスのトライアウト公園など、COOLな体験空間を提供。



Cool Experience in Japan

パートナーイベント

第5回札幌国際短編映画祭 (SAPPORO ショートフェスト 2010)



名 称：第5回札幌国際短編映画祭(SAPPORO ショートフェスト 2010)
 会 期：2010年10月6日(水)～10月11日(月)
 会 場：大通り公園2丁目ホワイトロックシアター／札幌東宝プラザ／シアターキ／
 主 催：SAPPORO ショートフェスト実行委員会／札幌市
 後 援：札幌市内の新聞社／放送局各社／各国大使館／ など
 対 象：一般市民、映像制作者、観光客ほか
 来場者：13,157人(本祭前後の上映含む)

■内容

●コンペ作品、ほか特別プログラム作品の上映

コンペ作品は23の国と地域から82本。その他、アウトオブコンペ作品、招待作品や、提携映画祭の出品作品も特別プログラムとして特別上映。合計で約160本の短編映画を上映。

●5名の国際審査員がフィルムメーカー部門、作品部門の各グランプリのほか、19の各賞を選出

【審査員】岩井俊二	(映画監督／日本)
バリー・モロー	(プロデューサー・脚本家／アメリカ)
ヤン・イクチュン	(映画監督・俳優／韓国)
アレクサン德拉・グラマトケ	(KurzFilmAgentur マネージング・ディレクター／ドイツ)
神田山陽	(講談師／日本)

●トークイベント、映像教育フォーラム、デジタルカメラや3Dカメラのワークショップなどを開催。



パートナーイベント

吉祥寺アニメーション映画祭



名 称：吉祥寺アニメーション映画祭
 会 期：2010年10月9日(土)
 会 場：武蔵野商工会館4F市民会議室(ゼロワンホール)
 主 催：吉祥寺ウエルカムキャンペーン委員会
 (武蔵野商工会議所、吉祥寺活性化協議会、武蔵野市商店会連合会)
 後 援：武蔵野市／武蔵野市開発公社／東京都／経済産業省関東経済産業局／スウェーデン大使館／東京武蔵野ライオンズクラブ
 協 賛：キリンビール／キリンビバレッジ／アニメイト／武蔵境自動車教習所／
 協 力：コアミックス／スタジオぴえろ／スタジオディーン／STUDIO4℃／ノース・スターズ・ピクチャーズ／フロンティアワークス／冴場商事／小学館／日本声優事業者協議会／アートストーム／三鷹の森ジブリ美術館
 対 象：一般観客、アニメーション制作を手掛ける作家
 来場者：90人

■内容

●テーマ：錚々たるアニメスタジオ、クリエイター達が日々作品を創り続けている街・吉祥寺にて、各アニメスタジオを中心とした審査員陣による新しい才能の発掘を目的としたご近所映画祭。審査委員長は竹熊健太郎氏(京都精華大学教授)

●ノミネート作品上映

●受賞作品発表、授与式

●応募作品に関する講評、ディスカッション

パートナーイベント JVA FESTA 2010

名 称：JVA FESTA 2010
 会 期：2010年11月3日(水)～11月7日(日)
 会 場：三鷹市芸術文化センター
 主 催：特定非営利活動法人 日本映像美術協議会(JVA)
 後 援：文化庁
 協 賛：日本映画・テレビ美術監督協会／テレビ日本美術家協会／
 (社)日本アド・コンテンツ制作社連盟／日本映画テレビ照明協会
 対 象：一般観客、写真・映像制作関連業種関係者及びそれらの職種を目指す方々
 来場者：650人

■内容

●実演1 特殊メイク

(株)メイクアップディメンションズ・江川悦子氏による特殊メイクの実演。一人の青年がゾンビになるまでの過程を詳細に説明し、観覧者からの質問に答えた。

●実演2 エイジング塗装

(株)東宝映像美術と角川映画(株)の両社塗装部門による実演。ベニヤの板が塗装によって赤錆の浮いた鉄扉や大理石板、チーク材へと変貌する様を丁寧に説明。

●講演 撮影監督・映画監督 木村大作氏による講演

「剣岳、点の記録」での初監督におけるエピソードと、黒澤明監督作品における撮影監督としての思い出を語る。

●会員社の仕事の紹介

コンテンツ業界における会員各社の活動内容の紹介

●第9回JVA賞応募作展示と審査

隔年開催のJVA賞応募作38点の展示とその審査



パートナーイベント 第2回むつデジタル映像フェスティバル

名 称：第2回むつデジタル映像フェスティバル
 会 期：2010年11月12日(金)～11月14日(日)
 会 場：青森県むつ市 むつ来さまい館
 主 催：むつデジタル映像フェスティバル実行委員会
 共 催：むつ市
 後 援：東北経済産業局／青森県／青森県教育委員会／むつ商工会議所／
 (社)むつ市観光協会／(社)むつ青年会議所／リサイクル燃料貯蔵(株)
 協 力：JAPAN国際コンテンツフェスティバル2010／
 宮城・仙台アニメーショングランプリ／
 山形国際ムービーフェスティバル／靈山大学校／上海現代職業技術学校
 企画・運営協力：(株)トータルプランニングオフィス
 対 象：一般市民
 来場者：1,045人

■内容

●開幕セレモニー

●受賞・入選作品上映

東北地方(一部新潟県含む)の映像クリエーターを目指す学生、青森県内の高校生より応募があった作品の中から選ばれた受賞・入選作品をホールBにて上映を行った

●特別招待作品上映

協力イベントである「宮城・仙台アニメーショングランプリ」、「山形国際ムービーフェスティバル」受賞・ノミネート作品、海外からは靈山大学校(韓国)、上海現代職業技術学校(中国)招待作品の上映を行った

●表彰式

審査員によって選ばれた受賞作品に対しての表彰式を開催

●市民参加イベント(むつDIGITAL PHOTO CONTEST他)



パートナーアイベント

全映協フォーラム 2010



名 称：全映協フォーラム 2010
会 期：2010年11月18日(木)
会 場：幕張メッセ国際会議場A
主 催：全国地域映像団体協議会
主 管：全映協フォーラム開催実行委員会
後 援：総務省／経済産業省／文化庁／千葉県／千葉市／(社)日本民間放送連盟／NHK／(株)映像新聞社／(財)デジタルコンテンツ協会／(社)日本エレクトロニクスショー協会
対 象：業界関係者及び一般
来場者：450人



■内容

全映協では、全国のコンテンツ制作会社と地域産業が一体となり、地域からコンテンツを日本全国、世界中に発信する事により、地域の活性化はもちろん、地域の優秀な技術を世界に紹介し日本中を元気にする事を目指して開催している。また、地方に優秀な映像プロデューサー・ディレクター・技術者を育てる「人材育成」を目的として「全映協フォーラム 2010」の中で「全映協グランプリ」の表彰を行った。

番組部門(放送、文化、産業)	総務大臣賞	(有)アイ・カンパニー
学生部門	文部科学大臣賞	中部大学 服部豊
地域振興コンテンツ部門	経済産業大臣賞	石川県
CM キャンペーン部門	映像新聞会長賞	(株)電通テック名古屋支店
デジタルコンテンツ部門	DCAJ会長賞	(株)北陸メディアセンター

5部門の表彰式を行った。シンポジウムでは、「地域発映像コンテンツの未来を探る」と題して経済産業省 信谷和重課長と地域の制作者代表が真剣なトークを行い好評を得た。次回2011年は、11月に長野で開催予定。

パートナーアイベント

CP+(シーピープラス) 2011



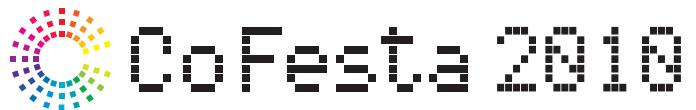
名 称：CP+(シーピープラス) 2011
会 期：2011年2月9日(水)～2月12日(土)
会 場：パシフィコ横浜
主 催：一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA)
協 賛：日本写真映像用品工業会
コーディネーター：凸版印刷株
対 象：ビジネスユーザー・コンシューマー・国内外プレス
来場者：49,368人(登録来場者数)



■内容

CP+(シーピープラス)は、国内外の写真映像に関わる企業が集まり、カメラ・レンズをはじめフォトプリンター、フォトアクセサリー、望遠鏡、その他写真関連機材など、多岐に渡る写真映像関連商品や最新技術を紹介する場であり、“撮る・見る・つながる”をキーワードに、あらゆるセミナーやイベントを通してより楽しく豊かなフォトライフを提案する、カメラと写真映像の情報発信イベントである。2回目に当たる今回は“ワールドプレミア ここからはじまるフォトイメージング”とテーマを掲げ、より国際的に、カメラおよび写真映像文化の最先端の情報を発信した。





CoFesta2010 Original Events

コ・フェスタオリジナルイベントとは、各イベントが連携し相乗効果を生み出すための分野横断的イベント。

CoFesta2010 グランドセレモニー

劇的3時間SHOW —5人の国際映画監督が語る—

オリジナルイベント CoFesta2010 グランドセレモニー

名 称：CoFesta2010 グランドセレモニー
 日 時：9月28日(火) 19:00～21:00
 場 所：帝国ホテル 富士の間
 ナビゲーター：杏
 司 会：井場尚希
 出席者：700人
 外国人招待者、関係省庁・自治体関係者、実行委員会、百人委員会、
 コンテンツ業界関係者、オフィシャル・パートナーイベント事務局、
 プレスなど
 主 催：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

■内容

開催4年目を迎えるCoFesta2010のセレモニーとして国内外のコンテンツ業界関係者、政府関係者、クリエイター、各種メディアが一堂に会する華やかで洗練された国際イベント。

セレモニーはコ・フェスタ2010イメージキャラクターである杏氏のナビゲートにより進行し、今年のコ・フェスタの海外展開の一環である6月の「コ・フェスタ IN上海」に登場した「カワイイ天使」5人を交えてのトークで華やかに始まり、主催者を代表して大谷信義実行委員長の挨拶、続いて来賓を代表して大畠章宏経済産業大臣、海江田万里内閣府特命担当大臣にご挨拶いただいた。そして乾杯の発声を依田巽実行副委員長が務めた後、17のオフィシャルイベントを映像で紹介。その後、7月のJAPAN EXPO出展に参加した麻生夏子氏より映像を交えて現地の模様を伝えた後、「コ・フェスタ IN上海」に出演したキマグレンのお二人が上海で披露した曲を演奏し、会場は盛大な拍手で包まれ、来場者間の交流も深まった。

■次第

- 「CoFesta in 上海」報告
 杏 (CoFesta イメージキャラクター)
 カワイイ天使
- 開会挨拶
 大谷信義 (JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 実行委員長)
- 来賓挨拶
 大畠章宏 (経済産業大臣)
 海江田万里 (内閣府特命担当大臣)
- 乾杯
 依田巽 (JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 副委員長)
- 歓談交流
- 17のオフィシャルイベント映像
- 「JAPAN EXPO」報告
 杏 (CoFesta イメージキャラクター)
 麻生夏子
- ライブパフォーマンス
 キマグレン (「リメンバー」、「LIFE」)
- 中締め挨拶
 松谷孝征 (JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会 副委員長)



オリジナルイベント

劇的3時間SHOW



名 称：劇的3時間SHOW —5人の国際映画監督が語る—

日 時：場所：2010年12月13日(月)～2011年3月30日(水)

場 所：スパイラルホール／東京ミッドタウン ホールB

主 催：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

対 象：コンテンツ業界を目指す若手クリエイターや学生

来場者：1,110人

■内容

コンテンツ業界のトップで活躍するプロフェッショナルが、自身の成功につながった技術や経験、クリエイティビティ（創造性）やコンテンツ観などを3時間使い、自由に表現するライブトークイベント。

4回目を迎える今年は、国境を越えやすく、拡散性のある映画というコンテンツに絞り、国際的な視点で映画作りに携わる国内外の著名な映画監督から、国際的に受け入れられる映画作りの方法などについて学んだ。

第1回：12月13日(月) トラン・アン・ユン

第2回： 1月28日(金) 是枝裕和、ジュリエット・ビノシュ

第3回： 2月26日(土) ホウ・シャオシェン ゲスト：蓮實重彦、一青窈

第4回： 3月29日(火) ルーシー・ウォーカー ゲスト：ピーター・バラカン、西川美和

第5回： 3月30日(水) ウェイン・ワン

※第4回、第5回は、東日本大震災に伴い、電力供給問題、各國政府の日本への渡航自粛勧告など、様々な要因をふまえ、来場者ならびに出演者の安全を第一に考慮した結果、中止となつた。



■出演者(出演順)



トラン・アン・ユン

12月13日(月)

『青いパパイヤの香り』
『シクロ』
『ノルウェイの森』



ホウ・シャオシェン

2月26日(土)

『恋恋風塵』
『悲情城市』
『珈琲時光』



是枝裕和

1月28日(金)

『誰も知らない』
『歩いても歩いても』
『空気人形』



ルーシー・ウォーカー

3月29日(火)

『ブラインドサイト』
～小さな登山者たち～
『カウントダウンZERO』



ジュリエット・ビノシュ

1月28日(金)

『ポンヌフの恋人』
『イングリッシュ・ペイシェント』
『ショコラ』



ウェイン・ワン

3月30日(水)

『ジョイ・ラック・クラブ』
『スモーク』
『千年の祈り』

関連イベント

コ・フェスタ PAO

会期：2010年10月～2011年3月
 会場：東京ミッドタウン（ミッドタウンホールA・B、カンファレンスルーム、芝生広場など）
 主催：経済産業省／NPO法人映像産業振興機構（VIVO）
 制作：（株）アサツー・ディ・ケイ／（株）クオラス／（株）テレビマンユニオン
 協力：東京ミッドタウン
 連携イベント：Japan Fashion Week in Tokyo（JFW）／
 　　六本木アートナイト2011・東京ミッドタウンプログラム
 対象：若手クリエイターおよびクリエイターを志す人
 来場者：1,166人

■内容：

10人のトップクリエイターらがプロジェクト・デザイナーとなり、それぞれ1つ合計10の“映像”と関連付けた次世代の新しいクリエイター発掘・育成のための企画を提案し、これをトークショー、ワークショップ、展示などを通じて披露するプロジェクト。各プロジェクトは、若いクリエイターあるいはクリエイターを志す若者を巻き込み、プロジェクト・デザイナーのプロデュースのもと、新たな創作活動や、トークイベントへの参加による貴重でエキサイティングな経験をすることで、若者たちの情熱的（Passionate）で魅了的（Attractive）、かつ独創的（Original）な新発想を生み出すことを目指す。

【プロジェクト・デザイナー】

佐藤雅彦（表現方法研究者）／三宅一生（デザイナー）／宮本茂（ゲームプロデューサー 任天堂専務取締役）／武部聰志（音楽プロデューサー）／藤村忠寿（テレビディレクター）／生駒芳子（ファッショングジャーナリスト）／谷川智洋（バーチャルリアリティ研究者）／松岡正剛（編集工学者）／高橋智隆（ロボットクリエイター）／佐藤可士和（アートディレクター）

●PAO DAY

- ・佐藤雅彦 PAO（10月20日）
 - トークイベント：『佐藤雅彦×ユーフラテスによる新しい映像制作のつくり方』
 （出演：佐藤雅彦、ユーフラテス）
 - 特別講義：『佐藤雅彦による表現方法論「I：ルール」「II：トーン』』
- ・三宅一生 PAO（12月7日）
 - トークセッション1：「映像とプロダクトの境界線」（出演：鹿野護、田川欣哉）
 - トークセッション2：「REALITY LAB—発想の現実化」
 （出演：三宅一生、浅葉克己、川上典李子）
- ・宮本茂 PAO（1月19日）
 - 「モノを作らなソンやと思わへん？」（出演：宮本茂、ヨーロッパ企画）
- ・武部聰志 PAO（3月6日）
 - トークセッション：「MUSIC∞CLIPS～音楽映像工房～」
 （出演：武部聰志、前嶋輝、川江美奈子、清水康彦）

●PAO WEEK 2011年3月22日(火)～27日(日)

※東日本大震災を受けて、電力供給問題および来場者への安全確保等を勘案し、3月22日(火)から3月27日(日)まで予定していた「コ・フェスタ PAO WEEK」の全てのプログラムは中止となった。

- ・生駒芳子 PAO
 - “TOKYO FASHION”的世界観をスピーディーな映像で表現するとともに、その華やかさを具現化したラウンジ空間を作り出す。
- ・佐藤可士和 PAO
 - 佐藤氏と、中村勇吾氏がコラボレーション。インタラクティブな映像インストレーションの制作。
- ・高橋智隆 PAO
 - 高橋氏による最新ロボット“ROPID”が主演する、CG・合成を使わないオール実写の短編映画を制作。トークショー、メイキング上映も企画。
- ・谷川智洋 PAO
 - 谷川氏が研究開発した3D & バーチャルリアリティシステムを使用した「超パノラマスクリーン」で、参加者が新しい映像コンテンツを体験できるプロジェクト。俳句の世界を、超次元的に表現。
- ・藤村忠寿 PAO
 - 藤村氏と、SAPPOROショートフェストがコラボレーションし、藤村氏が選出した、片岡翔氏、菱輪俊介氏、渡辺裕子氏の若手3名がオリジナルの短編映画が制作。
- ・松岡正剛 PAO
 - 松岡氏が、編集に関する方法論と哲学を通じて、書物と読書の可能性を拓く映像を制作。新進気鋭のクリエイターや研究者たちと「共読環境」を巡るトークなども企画。
- ・movie PAO
 - 国内外で注目される、久万真路氏、真利子哲也氏、黒崎博氏が、それぞれ独創的なオリジナル中編映画を制作。
- ・midnight PAO
 - コ・フェスタPAOで生まれた映像作品をオールナイトで一挙公開。
- ・フィナーレ（アニソンライブ）
 - 日本が誇る最強コンテンツ、アニソン。キーワードは「世界」と「新世代」。世界的コスプレイヤーも参加。

CoFesta PAO 2010.10 - 2011.3



佐藤雅彦 PAO



三宅一生 PAO



宮本茂 PAO



武部聰志 PAO

海外展開

JAPAN EXPO



●「JAPAN EXPO」への出展及び展開ブースについて

統合的日本ブランド発信イベントとしての機能をさらに拡充・強化するため、昨年に続き海外展開の一環として、「JAPAN EXPO」にブースを出展。「JAPAN EXPO」はフランスのパリで毎年7月に開催されるマンガ、アニメ、ゲームなどのPOPカルチャーを中心に、音楽、ファッション、書道や茶道といった日本の伝統文化を合わせた世界最大級の日本フェスティバルで今年で11年目を迎えた。今年は、外務省、文化庁、経済産業省、観光庁の4省庁連携による展開の他、財団法人音楽産業・文化振興財団(PROMIC)、国際交流基金、財団法人自治体国際化協会パリ事務所(CLAIR PARIS)、日本政府観光局(JNTO)、日本貿易振興機構(ジェトロ)等の機関、団体等が一体となってブース出展、連携イベント等を実施。欧州内外から17万人以上に及ぶ日本ファンの参加があり、日本のグローバルなコンテンツを世界に向けて発信するスポットとして、注目を集めた。

●CoFesta ブース

日 程：7月1日(木)～4日(日)

会 場：JAPAN EXPO フランスパリ ノール ヴィルパント展示会会場

主 催：JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行委員会

内 容：最新のJAPANコンテンツを紹介する体感型ショーケースを展開。人気アーティストのミニステージやPV放映、楽曲の視聴コーナー、話題のアニメの映像紹介、3D映像の視聴、日本とのUSTREAMを使った音楽ライブイベントの生中継、文化庁メディア芸術祭の展示、コ・フェスタ2009のダイジェスト映像の上映などを実施し、最新JAPANコンテンツの情報提供とコ・フェスタの認知促進を図った。

ミニステージ：分島花音 3D映像、観光庁プログラム

手塚プロダクション3D紙芝居

JE出演アーティスト

Anime Song Night in Harajuku 告知PV

Anime Song Night in Harajuku ライブ中継 他

●コ・フェスタ&ジェトロ連携ビジネスイベント

【コ・フェスタビジネスセミナー】

日 時：7月1日(木) 15:00～17:00

会 場：JAPAN EXPO 会場内 ライセンスマーケットセミナーハウス(504)

内 容：「フランス市場におけるマンガ・アニメ市場の可能性」

出席：松谷孝征 JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行委員会副委員長／

(株)手塚プロダクション代表取締役／

NPO 法人映像産業振興機構理事長

川崎由紀夫 (株)テレビ東京アニメ局 アニメ事業部長

Jean-Marc DUPIRE GAME ONE Head of Program & on air (編成局長)

Stephane Ferrand Editions Glenat Directeur editorial Manga (マンガ編集部長)

出席者数：100人

【ビジネス商談会】

日 時：7月2日(金) 9:00～13:00

会 場：ノルマンディーホテル

内 容：日本企業のブランド発信ならびに海外販路開拓を支援するための、アニメ、マンガ、ゲーム、音楽などのコンテンツ分野を対象とした、フランスを中心とする欧州企業との商談会を行った。

【参加企業】

キングレコード(株)(音楽・アニメ)／(株)コンパイルハート(アニメ・ゲーム)／

(株)ソニー・ミュージック・エンタテインメント(音楽・アニメ)／

(株)トーハン(漫画)／バウンディ(株)(音楽)／(株)ピクチャーズデプト(ゲーム・映画)／

(株)ミュージックエアポート(音楽)／

(株)メディアファクトリー(アニメ・漫画・音楽・出版・映画)／

(株)東京ビッグサイト(国際展示会場運営)

GANSHIN(音楽)／RAGE TOUR / GEKIDOTOUR(音楽)／

CENTRE GEORGES POMPIDOU(総合)／ANKAMA Music(音楽)／
Media Participation(出版・アニメ)／Games Fed(ゲーム)／Hachette(出版)／
GONG(音楽)／VS Music & ACTION MEDIA(音楽)／
Abysse Corp(輸入・小売販売)／Japan LifeStyle(雑誌)／
PRIME PRODUCTIONS(イベント・企画)／MTV(音楽)

●多様な日本の紹介

日 時：7月3日(土)～4日(日) 11時30分～14時30分
 会 場：JAPAN EXPO会場内「SCENE CULTURELLE」
 内 容：和太鼓や三味線のコンサート、アニメ・マンガを通じた日本語学習体験イベント、日本の地方の魅力紹介、居合道演武、対戦ゲームアトラクション等を実施。ポップカルチャー、伝統文化、日本の地方等多様な日本について、在仏日本大使館、パリ日本文化会館、自治体国際化協会パリ事務所、観光庁・日本政府観光局、コ・フェスタが連携し紹介するプログラム。



●Anime Songs Night in Harajuku ~jump to the world~

日 時：7月4日(日) 12:00～（日本時間7月4日19:00～）
 会 場：JAPAN EXPO会場内 コ・フェスタブース
 内 容：原宿クエストホールで開催されるアニソンライブ「Anime Song Night in Harajuku～Jump to the world～」を、「東京国際ミュージックマーケット(TIMM)」オフィシャルサイト(<http://www.timmkt.jp/>)を通じ、コ・フェスタブースにてUstream生中継。

【参加アーティスト】

TOKYO BRASS STYLE、Daisy×Daisy、喜多修平、ELISA、米倉千尋(計5組)

【JAPAN EXPO概要】

日 程：7月1日(木)～4日(日) 10:00～19:00
 会 場：フランス パリ ノール ヴィルバント展示会会場
 (PRRC D'EXPOSITIONS RARIS-NORD VILLEPINTE)
 主 催：S.E.F.A.
 来場者数：17万3千人
 公式サイト URL：<http://www.japan-expo.com/art-1-fr-festival.html>

CoFesta 2010

海外展開

コ・フェスタ in 上海



フィルマーチケットでの個別商談会



●開催概要

開催期間：2010年6月12日(土)～6月23日(水)

開催時間：9:30～22:30

開催場所：上海国際博覧会 Aゾーン内 アジア広場：6月12日(土)～18日(金)

日本館イベントステージ：6月18日(金)～23日(水)

主 催：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

運 営：NPO 法人映像産業振興機構／(株)クオラス／(株)テレビマンユニオン／

博報堂・ADK共同事業体

出展コンセプト：「コ・フェスタ IN 上海」は、平和を理念とし、若い世代から支持されているゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画、ファッショニ、デザインなど、すばらしい日本の現代コンテンツを上海で披露することで、若い世代から新しい平和観“カワイイ平和”が生まれることを目的としたフェスティバルである。

●コ・フェスタIN上海 連携ビジネスイベント

実施内容：コ・フェスタIN上海 連携ビジネスイベント【6月14日(月)～16日(水)】

上海のイベントでは、上海国際映画祭のフィルムマーケットにジャパンブースを出展し、ジェトロのマッチングによる個別商談会を実施。また、同映画祭の公式フォーラムでニューメディアをテーマにした日中コンテンツビジネス関係者によるセッションを主催し、新しいビジネスモデルの可能性を探った。

参加企業：(株)ピクチャーズデプロ(映画・テレビ番組)／(株)SDP(映画)／
(株)シンク(映画・アニメ・漫画)／(株)サンリオ(アニメ)／
(株)ティー・オーエンタテインメント(映画・テレビ番組・アニメ)／
(株)バイリンク(映画・テレビ番組)／(株)バンダイチャンネル(アニメ)／
バンダイビジュアル(株)(映画・アニメ・音楽)／
吉本興業グループ(映画・テレビ番組・漫画等)／
(株)GPコアエッジ(ゲーム)／
(株)ディー・エル・イー(映画・テレビ番組・アニメ)

海外展開

HYPER JAPAN London

●ブース出展

日 程：10月1日(金)～3日(日)
 会 場：「HYPER JAPAN London 2010」The Old Truman Brewery会場
 主 催：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会
 内 容：コ・フェスタの展示・紹介、人気コミック等試読コーナー、アニメ・音楽等の映像をはじめとする最新の2D/3D映像上映等



CoFesta ブースの模様

●英国等のコンテンツについての意見交換会

主 催：日本貿易振興機構
 日 時：10月1日(金) 17:00～18:30
 会 場：HYPER JAPAN 2010会場内ジェトロ・ビジネスエリア



HYPER JAPAN London 会場の模様

【HYPER JAPAN London 2010 概要】

日 程：2010年10月1日(金)～3日(日) 10:30～20:00(最終日のみ、19:00まで)
 会 場：The Old Truman Brewery, Brick Lane
 主 催：EAT-JAPAN
 後 援：在英日本国大使館／日本貿易振興機構(JETRO)／
 日本政府観光局(JNTO)／国際交流基金
 協 力：(株)トーハン／日本出版貿易(株)／NPO法人映像産業振興機構
 公式サイト URL：<http://hyperjapan.co.uk>



CoFesta 2010

海外展開

カンヌ映画祭／Ace Fair



●第63回カンヌ国際映画祭

期 間：2010年5月12日(水)～23日(日)

場 所：フランス・カンヌ

メイン会場：パレ・デュ・フェスティバル・エ・コングレ(ヌーヴォ・パレ)

【ジャパンパビリオン】

日 時：2010年5月12日～20日 10:00-18:00

会 場：フランス・カンヌ ビレッジインターナショナル

主 催：公益財団法人ユニジャパン／東京国際映画祭(TIFF)／

日本映像振興(株)(TIFFCOM)／NPO 法人映像産業振興機構

内 容：ユニジャパン、TIFF、TIFFCOMと共同出展にてコ・フェスタの資料配布、映像デモを実施、マーケットを含めた他国パビリオン、ブースにてヒアリングや意見交換を実施した。

●ACE Fair2010 (Asia Content & Entertainment Industry Fair:国際文化創意産業展)

期 間：2010年9月9日(木)～9月12日(日)

場 所：金大中コンベンションセンター(大韓民国光州広域市西区)

主 催：光州広域市

内 容：Creative Market Tokyoとの共同ブース出展し、コ・フェスタの広報活動、会期中のカンファレンスへのスピーカーとしての参加、コンテンツ振興団体、企業にヒアリングを実施。

海外展開

(参考) コ・フェスタ in ブラジル

●開催概要

期 間：2010年3月11日(木)～3月14日(日)
 プレス&トレードデー 2010年3月11日(木)10:30～18:00
 パブリックデー 2010年3月12日(金)～3月14日(日)10:00～19:00
 場 所：Bienal de Sao Paulo 3F/B1
 (イビラプエラ公園内/ ブラジル サンパウロ)

来場者数：3,001人

実施体制

主 催：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会／経済産業省
 後 援：ブラジル連邦共和国政府通信省・文化省／サンパウロ市／
 在サンパウロ日本国総領事館／
 日本貿易振興機構サンパウロセンター
 協 力：一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会／
 (財)デジタルコンテンツ協会／
 一般社団法人日本オンラインゲーム協会／(社)日本映画製作者連盟／
 一般社団法人日本動画協会／(財)音楽産業・文化振興財団／
 NPO法人映像産業振興機構



●事業内容

プレス&トレードデー 2010年3月11日(木)10:30～18:00

【プレスカンファレンス】 10:30～12:30

主催者挨拶

経済産業省 商務情報政策局／審議官 渡辺 信一

後援者挨拶

在サンパウロ日本国総領事館／首席領事 小林 雅彦

後援者挨拶

ブラジル連邦共和国通信省 ジョヴィノ・フランシスコ・フィリョ
 サンパウロ市 イホジ(飯星)連邦下院議員(伯日議員連盟会長)

参加者挨拶

一般社団法人日本動画協会／名誉理事

コ・フェスタ実行委員会／副委員長 松谷 孝征



【レセプション】 12:10～

【ビジネスセッション】 14:00～18:00

基調講演

一般社団法人日本動画協会／名誉理事 松谷 孝征

マウリシオ・デ・ソウザ

パネルディスカッション

(財)デジタルコンテンツ協会／専務理事	鷲見 良彦
一般社団法人日本オンラインゲーム協会／事務局長	川口 洋司
(社)日本映画製作者連盟／事務局長	華頂 尚隆
一般社団法人日本動画協会／名誉理事	松谷 孝征
(財)音楽産業・文化振興財団／専務理事	桑原 誠
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント／部長	田中 章
ABRADEMI／会長	クリスティアニ・サトウ
JBC出版／専務	ジュリオ・モレーノ



【日本コンテンツ上映】 ※B1Fデジタルシネマシアター

【サンパウロ市主催懇親レセプション】 20:00～22:00

パブリックデー 2010年3月12日(金)～3月14日(日)10:00～19:00

アニメを核にしたコンテンツの紹介(シネマ上映、パネル展示)

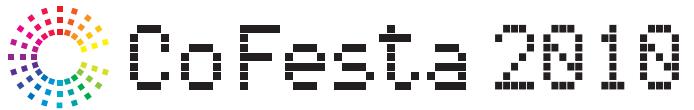
最新テクノロジーのPR展示

最新ゲーム展示

コンテンツマーケットの可能性、動向、課題などを明らかにする調査

デリゲーションの派遣及びビジネスマッチング





広報

年間スケジュール

■広報年間スケジュール概要

		国 内	海 外
4月			
5月	1日		上海万博スタート
	12日～23日		カンヌ国際映画祭(カンヌ)参加
	14日	ジェトロ、コ・フェスタIN上海連携ビジネスイベントプレスリリース	
	18日	コ・フェスタIN上海記者発表会	
	26日	第1回実行委員会	
	26日	CoFesta2010開催決定プレスリリース	
6月	1日	2010ウェブサイトオープン	
	2日	JAPAN EXPO出展決定プレスリリース	JAPAN EXPO記者会見参加
	12日～23日		コ・フェスタIN上海
	14日～16日		ジェトロ、コ・フェスタIN上海連携ビジネスイベント
	14日	パートナーイベント募集プレスリリース	
	23日	JAPAN EXPO出展概要プレスリリース	
7月	1日	日経トレンディネット連携WEB企画開始(～11月)	
	1日～2日		ジェトロ、コ・フェスタ連携ビジネスイベントinパリ
	1日～4日		JAPAN EXPO(パリ) 出展
	16日	第1回イベント・広報連絡会	
	30日	第2回実行委員会・百人委員会結団式	
	30日	百人委員会結団式開催リリース	
	30日	2010ウェブサイトリニューアル	
	30日	プレチラシ発行	
8月	24日	第2回イベント・広報連絡会	
	下旬	本チラシ・ポスター発行	
9月	9日～12日		Ace Fair(韓国) 出展
	上旬	オフィシャルガイド発行	
	16日	オフィシャルイベント開始プレスリリース	
	16日	CG WORLD FREE STYLE出稿	
	28日	グランドセレモニー開催	
	29日	グランドセレモニー開催プレスリリース	
10月	1日～3日		HYPER JAPAN London 2010出展
	4日	HYPER JAPAN London 2010に出展プレスリリース	
	4日	日経エンタテインメント! 11月号出稿	
	20日	CoFesta PAO開催(～3月27日)	
	21日	劇的3時間SHOW開催プレスリリース	
11月			
12月	13日	劇的3時間SHOW開催(～3月30日)	
1月			
2月	21日	第3回実行委員会	
	22日	動員報告プレスリリース	
3月			

広報

制作物

■紙媒体

●ポスター

数 量 : 1,500 枚(B1 サイズ 1,000 枚、B2 サイズ 500 枚)

仕 様 : フルカラー

配布先 : 実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁、自治体、団体、
コンテンツ産業教育機関など



●チラシ(プレバージョン)

数 量 : 2,000 枚

仕 様 : A4 サイズ フルカラー

配布先 : 実行委員会、関連イベントなど



●チラシ

数 量 : 100,000 枚

仕 様 : A4 サイズ フルカラー

配布先 : 実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁、自治体、団体、
コンテンツ産業教育機関など



●オフィシャルガイド

言 語 : 日本語、英語

数 量 : 50,000 部(日本語 30,000 部、英語 20,000 部)

仕 様 : 蛇腹折り フルカラー

配布先 : 実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁・自治体・団体、
コンテンツ産業教育機関など



■映像

●公式映像記録 DVD

言 語 : 日本語、英語

数 量 : 200 枚

仕 様 : 約 5 分

配布先 : 実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁・自治体・団体など



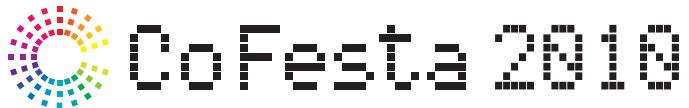
■ウェブサイト

●オフィシャルサイト

U R L : <http://www.cofesta.jp>

言 語 : 日本語、英語、フランス語、中国語、韓国語





広報

メディア露出状況

期 間：2010年4月1日～2011年3月31日

件 数：下記表参照

		テレビ	ラジオ	新聞 (業界紙含む)	雑誌	WEB	計
国内	CoFesta全体 ※1	13	7	76	102	385	583
	海外イベント ※2	3	0	55	7	85	150
	コ・フェスタ IN 上海	7	0	39	3	86	135
	計	23	7	170	112	556	868
国外	CoFesta全体 ※1	0	0	1	0	1	2
	海外イベント ※2	0	0	0	0	27	27
	コ・フェスタ IN 上海	3	0	20	0	28	51
	計	3	0	21	0	56	80
総計		26	7	191	112	612	948

※1 オフィシャルイベント、パートナーイベント、オリジナルイベントを含む

※2 JAPAN EXPO、HYPER JAPAN London

参考

	テレビ	ラジオ	新聞 (業界紙含む)	雑誌	WEB	計
CoFesta PAO ※3	1	2	38	18	291	350

※3 若手クリエイター発掘・育成事業

[主な露出媒体：国内]

テレビ：「おはよう日本」(NHK)、「NHKスペシャル」(NHK)、「めざましテレビ」(CX)他

新聞：「日本経済新聞」、「日経産業新聞」、「日経MJ」、「朝日新聞」、「読売新聞」、「毎日新聞」、「産経新聞」、「日刊工業新聞」、「日刊スポーツ」、「サンケイスポーツ」、「共同通信」、「時事通信」他

雑誌：「日経エンタテインメント！」、「ORICON BiZ」、「エコノミスト」他

WEB：「nikkei TRENDY net」、「YOMIURI ONLINE」、「Yahoo!」、「goo」、「livedoor」、「excite」、「Infoseek」、「ITmedia」、「Impress watch」、「アニメ！アニメ！」、「musicman-net」他

業界紙：「映像新聞」、「織研新聞」、「日本繊維新聞」、「情報プレス」、「日刊興行通信」、「日刊レコード他特信」、「文化通信」、「ミュージックレポート」、「連合通信」他

[主な露出媒体：国外]

テレビ：CCTV(中国中央電視台)でのニュース他

新聞：「解放日報」、「新民日報」、「上海日報」、「新闻晚报」、「新民晚报」、「中国经营报」他

雑誌：「cool軽音楽」他

WEB：「variety.com」、「世博网」他

一体感の創出

分野横断的企画

いくつかのオフィシャルイベントにおいて、コ・フェスタの趣旨に即した分野横断的なセミナーやシンポジウム、ブース出展などが行われた。また、コ・フェスタに参加するイベントの統一感を創出するために、各イベントのオープニングセレモニーなどではコ・フェスタ実行委員会正副委員長の挨拶が行われた。

■オフィシャルイベントでの分野横断的企画

●デジタルコンテンツ EXPO2010 × 第11回「東京発 日本ファッショントーク」

「デジタル×ファッション そして世界へ」

内容：世界に誇る日本のソフトパワーである、デジタル技術とファッションが融合することで新しいクリエイションを世界へ提示することが期待される中、ファッションにおけるデジタルの取り組み、作り手や受け手の変化は？そして「COOL JAPAN」として世界にデジタル×ファッションを訴求する切り口とは？次代を切り開く識者が語り合った。

モデレーター：信田阿芸子（JFW国際ディレクター）

パネリスト： 森田 修史（デジタルファッション株式会社社長）
Olga (Etw.Vonneguet デザイナー)



●第23回東京国際映画祭×TIFFCOM2010

「同じ建物でTIFF期間内に開催」

内容：TIFFの来場者、関係者とTIFFCOMの出展者が交流できるよう同じ六本木ヒルズでTIFFの期間中に開催。

会期・場所：10月25日(月)～28日(木)

六本木ヒルズ森タワー「六本木アカデミーヒルズ」

●TIFFCOM2010 ×オフィシャルイベント

「コ・フェスタオフィシャルイベントによるTIFFCOMへのブース出展」

内容：各オフィシャルイベントによるブース出展。

出展イベント：Creative Market Tokyo、第23回東京国際映画祭、コ・フェスタ実行本部がTIFFCOM内でブース出展。

会期・場所：10月25日(月)～28日(木)

六本木ヒルズ森タワー「六本木アカデミーヒルズ」



●TIFFCOM2010 ×国際ドラマフェスティバルinTOKYO2010

「放送コンテンツ・マーケット」

内容：TIFFCOMへの特設ブース出展。

会期・場所：10月26日(火)～28日(木)

六本木ヒルズ森タワー「六本木アカデミーヒルズ」

「国際ドラマフェスティバルオープニングイベント」

内容：TIFFCOMでの国際ドラマフェスティバルオープニングイベントを開催し、海外作品出演者等によるトークイベントを実施。

会期・場所：10月26日(火) 六本木ヒルズ森タワー「六本木アカデミーヒルズ」



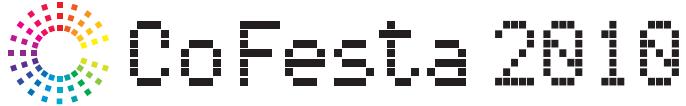
●TIFFCOM2010 ×東京国際ミュージックマーケット(TIMM)

「TPG2010ネットワーキング・セッション」

内容：企画の出品者を、来場したプロデューサー、出資者、海外セールス会社等にお披露目する場であるTPGネットワーキング・セッションへTIMMから音楽関係者が参加。

会期・場所：10月25日(月) 六本木ヒルズ森タワー「六本木アカデミーヒルズ」





一体感の創出

公式行事等への CoFesta 正副委員長の出席

● 東京ゲームショウ 2010 オープニングセレモニー

9月16日(木) 9:30～ 幕張メッセ

コ・フェスタ側出席者：松谷副委員長

主催者側出席者：和田洋一 一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会会長、平田保雄 (株)日経BP 社代表取締役社長、渡辺信一 経産省大臣官房審議官、鵜之澤伸 一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会副会長、北川一三 一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会副会長

● Creative Market Tokyo 2010 表彰式＆交流会

10月13日(水) 18:30～ 東京ビッグサイト 西4ホール

コ・フェスタ側出席者：迫本副委員長

主催者側出席者：渡辺信一 経産省大臣官房IT戦略担当審議官、坪井裕 経産省大臣官房地域経済担当審議官、内山俊一 経産省関東経済産業局長、古瀬利博 (㈱)中小企業基盤整備機構理事、丹羽信一 (株)日本経済広告社代表取締役、岡田忠明 ジャパン・ライセンシング・コミッティ理事

● デジタルコンテンツ EXPO 2010 オープニングセレモニー＆レセプション

10月14日(木) 11:30～ 日本科学未来館1F センターステージ、7F 第3会議室

コ・フェスタ側出席者：大谷実行委員長

主催者側出席者：池田元久 経産省副大臣、毛利衛 日本科学未来館館長、北島義俊 (㈱)デジタルコンテンツ協会会長、館暲 DCEXPO 運営委員長、川口洋一郎 アジアグラフ実行委員長、河合隆史 国際3Dフェア、稻見昌彦 次世代コンテンツ技術展実行委員長

● 東京国際アニメ祭 2010 秋 オープニングセレモニー

10月22日(金) 9:45～ UDX 2階「AKIBA SQUARE」

コ・フェスタ側出席者：大谷実行委員長

主催者側出席者：渡辺信一 経産省官房審議官、布川郁子 一般社団法人日本動画協会、横山英樹 東京都産業労働局観光部長、南沢道義 一般社団法人日本音声製作連盟理事長、浜野京 (㈱)日本貿易振興機構海外市場開拓部部長、大山秀徳 東京国際アニメ祭 2010秋実行委員長 一般社団法人日本動画協会副理事長

● 第7回文化庁映画週間 平成22年度文化庁映画賞贈呈式

10月23日(土) 18:30～ 六本木ヒルズ グランドハイアット東京 2階「コリアンダー」

コ・フェスタ側出席者：迫本副委員長、松谷副委員長、依田副委員長

主催者側出席者：近藤誠一 文化庁長官、依田巽 東京国際映画祭チアマン

● 国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2010 懇親パーティー

10月25日(月) 18:30～ 明治記念館

コ・フェスタ側出席者：大谷実行委員長、依田副委員長

主催者側出席者：広瀬道貞 国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2010実行委員会委員長、重村一 国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2010実行委員会副委員長、福地茂雄 日本放送協会会長

● 日本香港コラボレーションセミナー（第23回東京国際映画祭連携イベント）「日本－香港 共同制作 ロードマップ」& レセプション「香港シネマ@TIFF」レセプション

10月27日(水) 16:30～ グランドハイアット東京 グランドボールルーム

コ・フェスタ側出席者：松谷副委員長

主催者側出席者：レモンド・イップ 香港貿易発展局副総裁、依田巽 第23回東京国際映画祭チアマン

● 第27回 ATP賞テレビグランプリ 2010 授賞式

10月29日(金) 16:00～ 六本木ハイウッドホール

コ・フェスタ側出席者：大谷実行委員長、迫本副委員長

主催者側出席者：平岡秀夫 総務副大臣、福地茂雄 日本放送協会会長、福田俊男 (社)日本民間放送連盟専務理事、中尾幸男 ATP理事長

● KYOTO CMEX2010 レセプション

11月8日(月) 18:30～ 京都国際マンガミュージアム

コ・フェスタ側出席者：大谷実行委員長、松谷副委員長

主催者側出席者：渡辺信一 経産省官房審議官、齋藤茂 KYOTO CMEX 実行委員長 京都府副知事、立石義雄 京都商工会議所会頭、門川大作 京都市長

● 電子書籍・コミック サミット in 秋葉原 交流懇親会

11月12日(金) 18:00～ 秋葉原 UDX 4階マルチスペース

コ・フェスタ側出席者：松谷副委員長

主催者側出席者：佐藤辰男 電子書籍・コミックサミット in 秋葉原 実行委員長 (株)角川グループホールディングス代表取締役、信谷和重 経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課長、大塚英志 作家、相賀昌宏 (株)小学館代表取締役社長、山下秀樹 デジタルコミック協議会顧問 集英社代表取締役、佐藤隆信 一般社団法人日本電子書籍出版者協会常任理事 (株)新潮社代表取締役、五十嵐隆夫 (株)講談社 専務取締役

JAPAN国際コンテンツフェスティバル2010 実施報告書

発行日：2011年3月

発行：JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

構成・印刷・製本：ホクエツ印刷(株)

デザイン監修：(株)サムライ

Printed in JAPAN

© VIPO

住 所／〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル8F

NPO法人 映像産業振興機構(VIPO)内

電話／03-3543-7321

FAX／03-3543-7322

URL／<http://www.cofesta.jp/>

Eメール／info@cofesta.jp

